

精華くるりんバスに関する住民アンケート調査結果

1. アンケート調査の概要

(1) 目的

精華くるりんバスが実証実験として運行を開始してから15年が経過し、実証実験としての総括と検証を行うにあたり、精華くるりんバスに関する住民の利用実態とニーズを把握するために実施。

(2) 実施期間・方法

令和元年12月6日～令和2年1月15日に郵送で実施

(3) 対象者

精華町全域から2,250人を無作為抽出

(4) 回収件数

874件(38.8%)

(5) 担当部署

事業部 都市整備課 まちづくり計画係

TEL 0774-95-1902

FAX 0774-95-3973

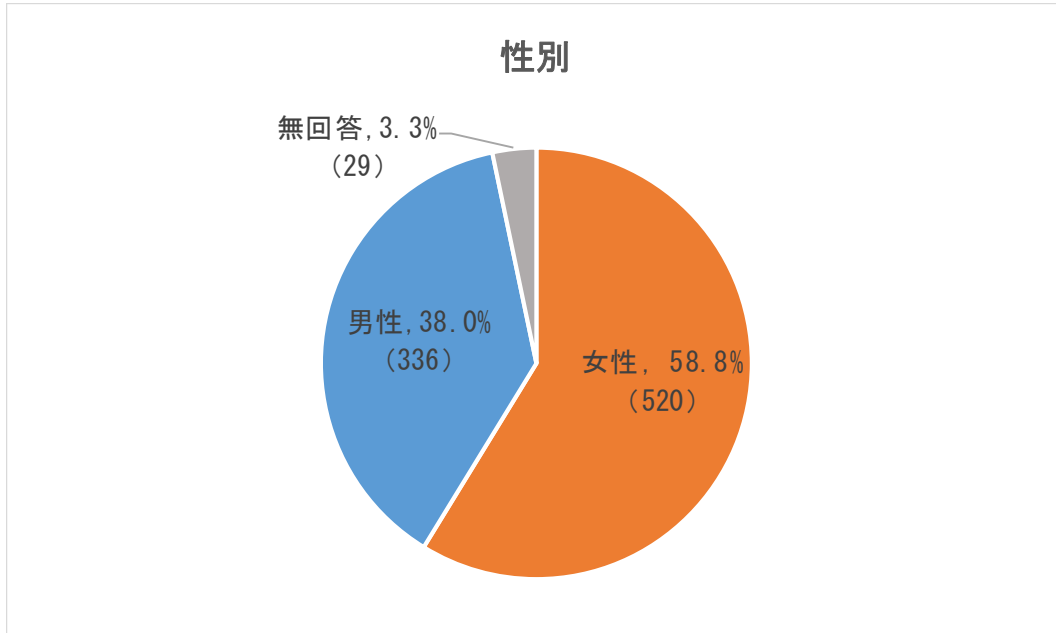
Mail toshi@town.seika.lg.jp

2. 精華くるりんバスに関する住民アンケート調査結果

I. はじめにあなたご自身のことについておたずねします。

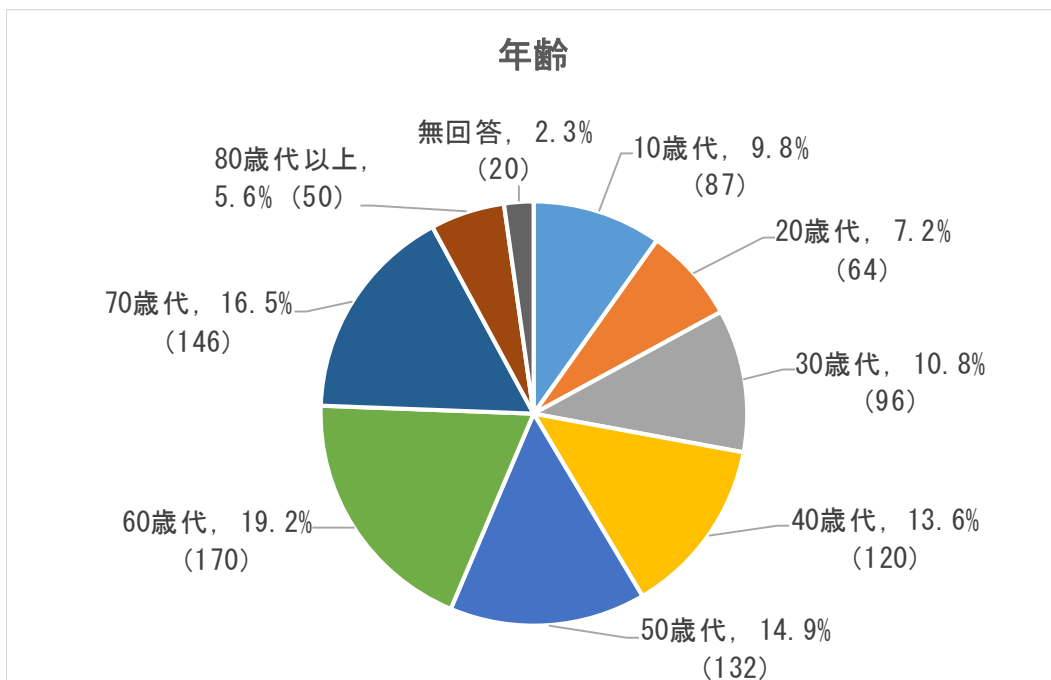
問1. あなたの性別・年齢・お住まい・ご職業・普段の主な交通手段について、お答えください。

1. 1 性別

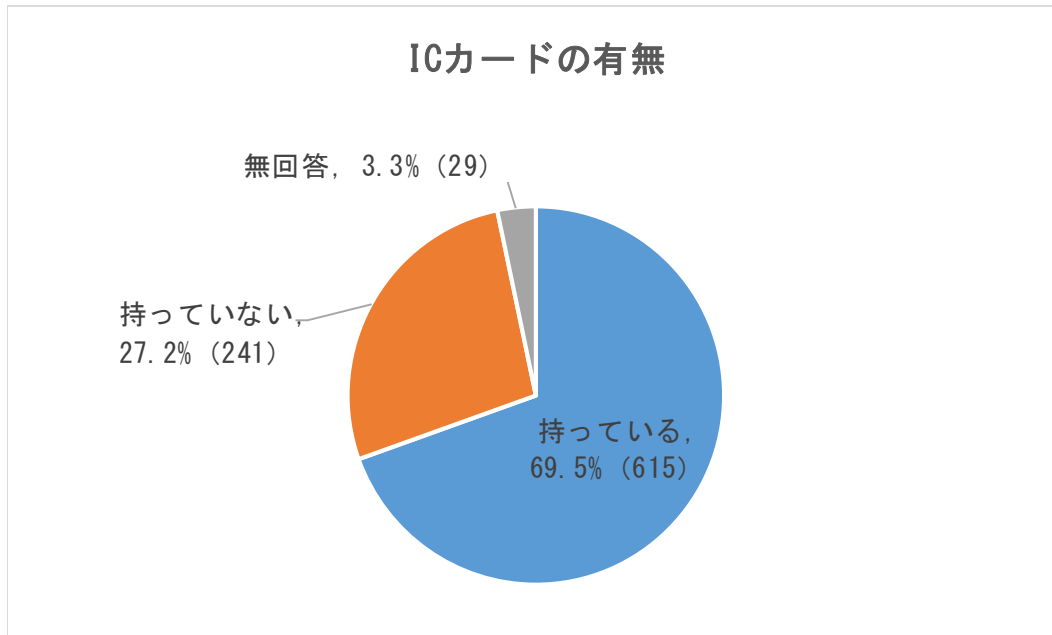


1. 2 年齢

アンケート回答者の年齢は、「60歳代」が170人（19.2%）と最も多く、次いで、「70歳代」が146人（16.5%）、「50歳代」が132人（14.9%）となっている。



1. 3 ICカードの有無



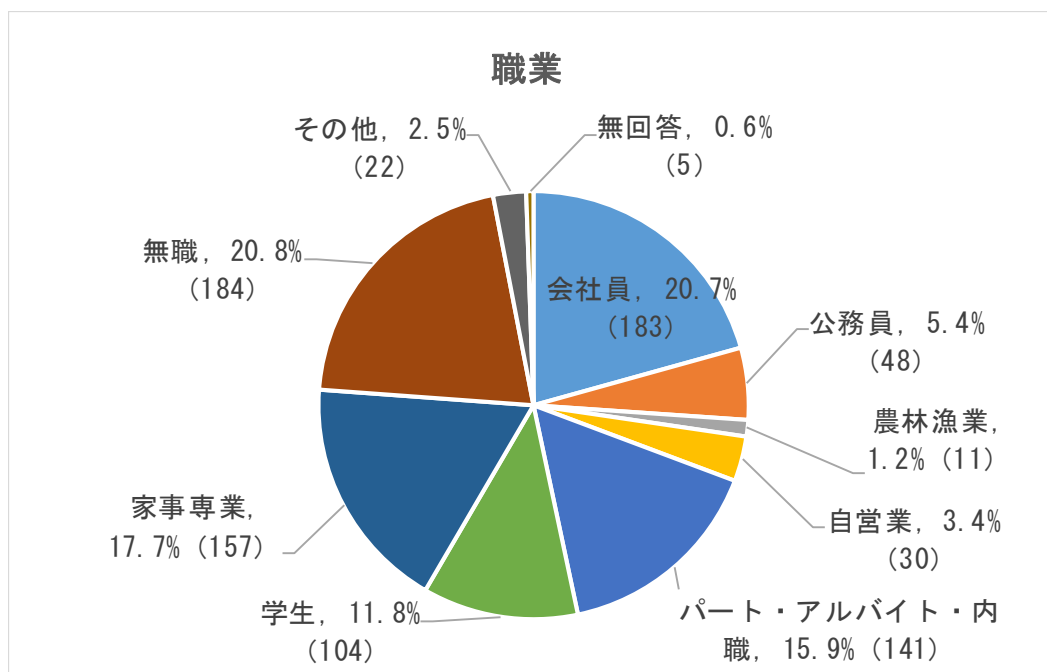
1. 4 お住まい

アンケート回答者のお住まいは、「光台」が200件で最も多く、次いで、「精華台」が162件、「桜が丘」が126件となっている。

お住まい	件数	割合
大字菱田	65	7.3%
大字下狛	75	8.5%
大字北稲八間	17	1.9%
大字南稲八妻	24	2.7%
大字植田	22	2.5%
大字管井	35	4.0%
大字祝園	88	9.9%
大字山田	11	1.2%
大字乾谷	9	1.0%
大字柘榴	9	1.0%
大字東畑	17	1.9%
桜が丘	126	14.2%
光台	200	22.6%
精華台	162	18.3%
祝園西	20	2.3%
無回答	5	0.6%
合計	885	100.0%

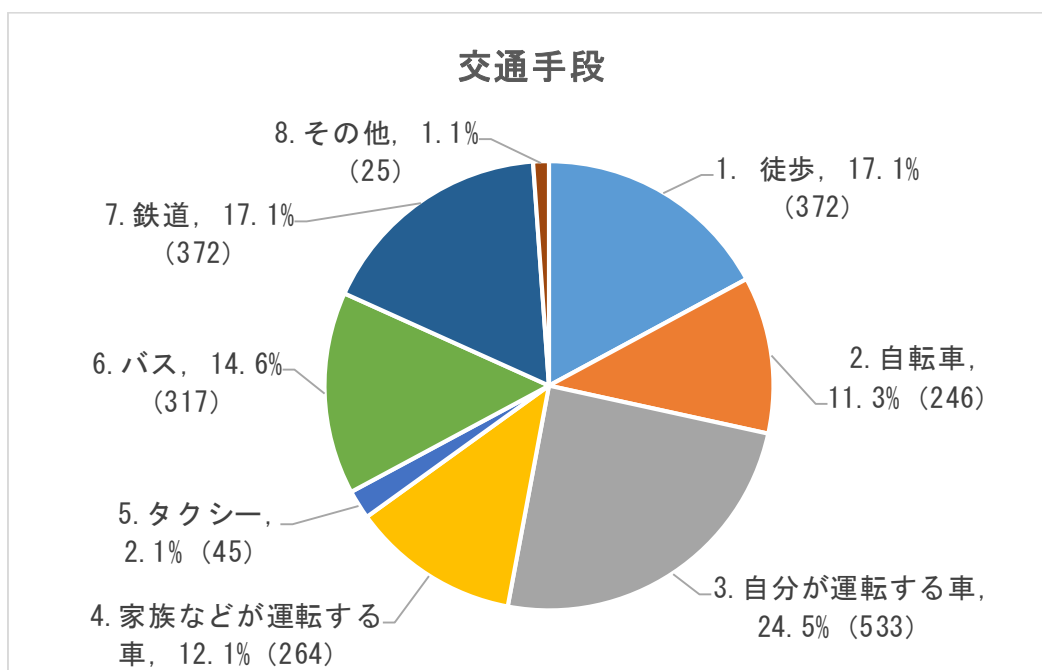
1. 5 職業

アンケート回答者の職業は、「無職」が184人（20.8%）と最も多く、次いで、「会社員」が183人（20.7%）、「家事専業」が157人（17.7%）となっている。



1. 6 日常生活での交通手段

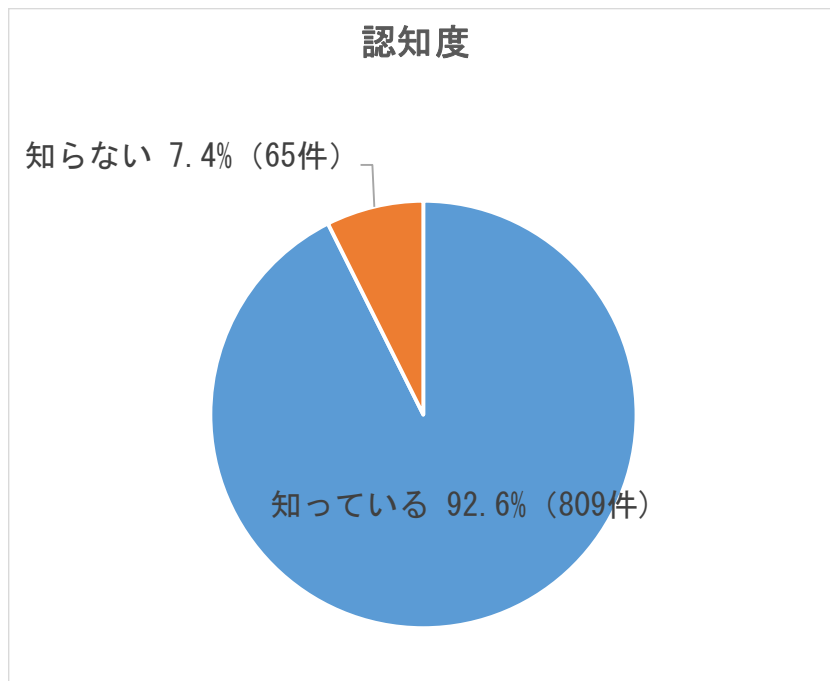
日常生活での交通手段は、「自分が運転する車」が533件（24.5%）で最も多く、次いで、「鉄道」と「徒歩」がそれぞれ372件（17.1%）、「バス」が317件（14.6%）となっている。



Ⅱ. 精華くるりんバスについておたずねします。

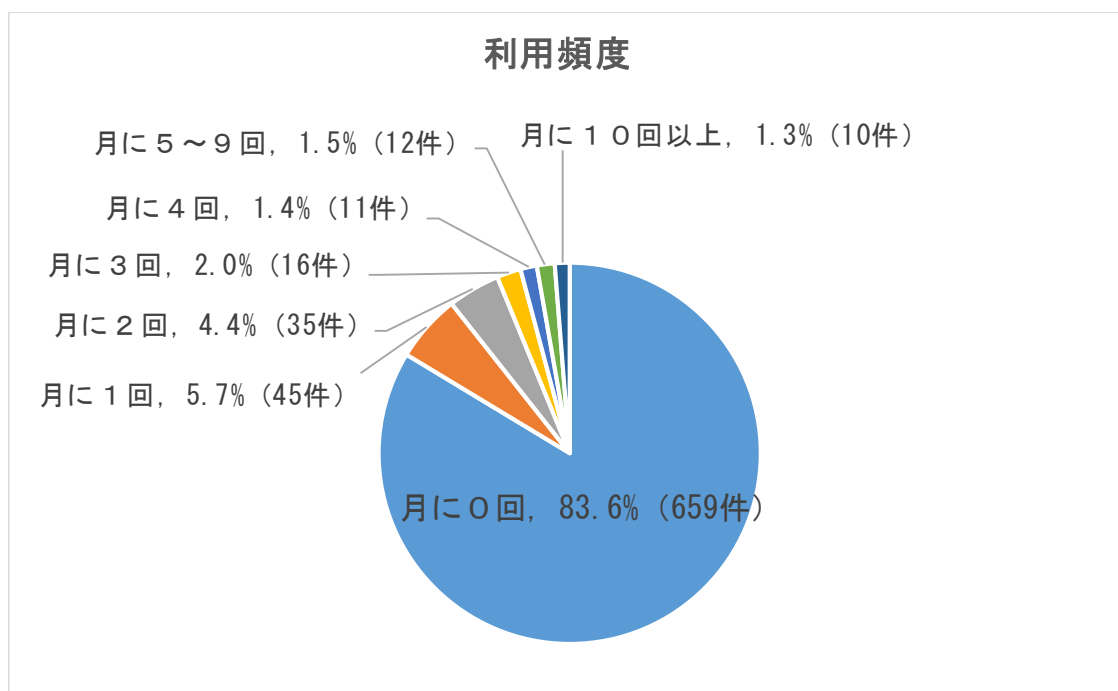
問2. あなたは精華くるりんバスを知っていますか。知っている場合、最寄りのバス停を教えてください。

認知度は「知っている」人が92.6%、「知らない」人が7.4%となっている。



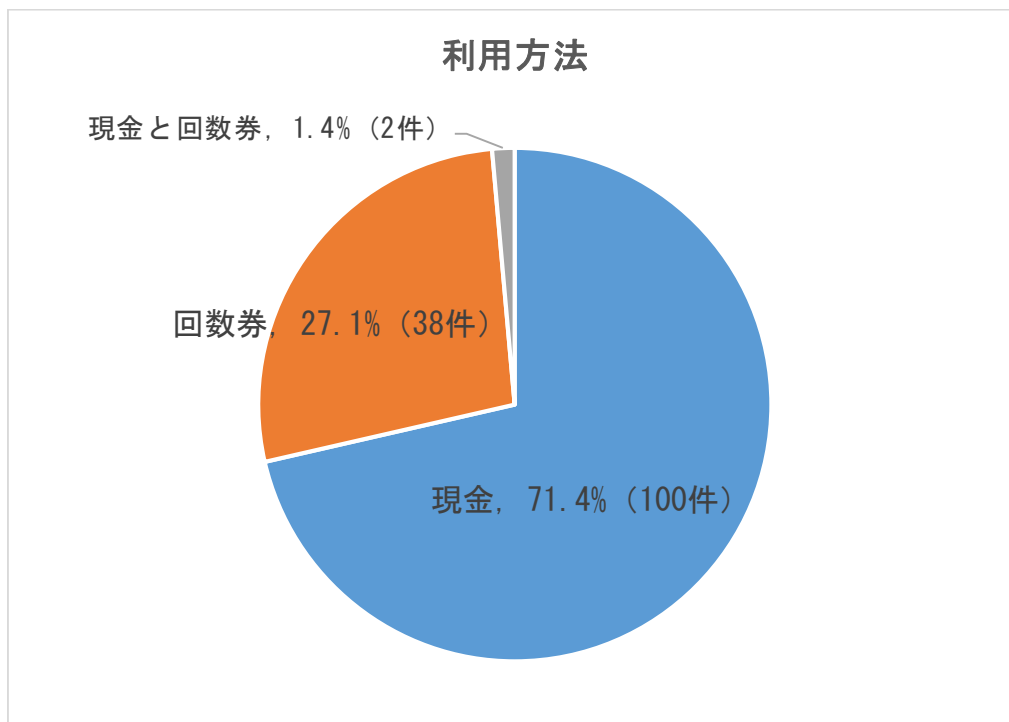
問3. 精華くるりんバスをどの程度利用されますか。

利用頻度は「月に0回」が659件(83.6%)で最も多く、次いで、「月に1回」が45件(5.7%)、月に2回が35件(4.4%)となっている。



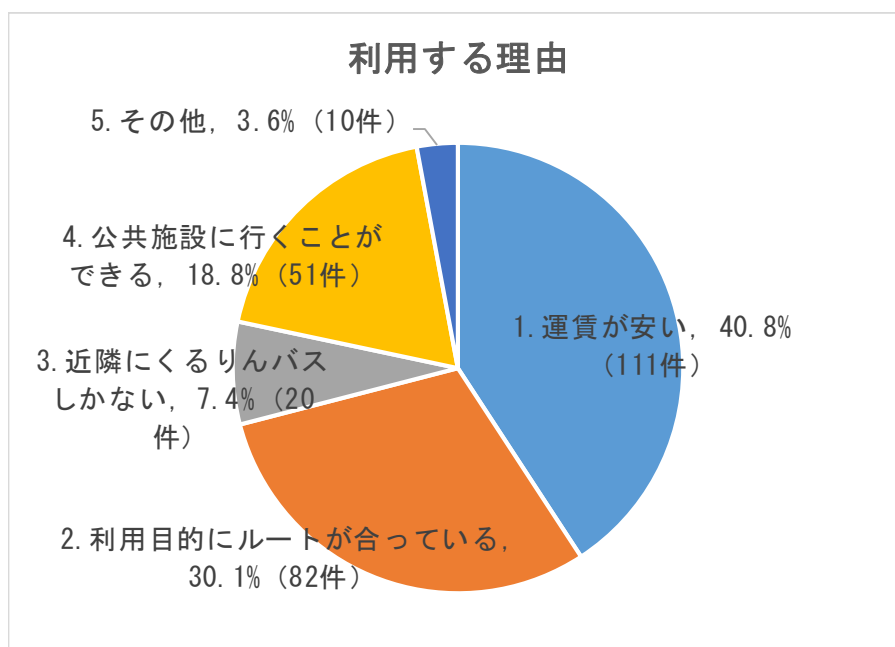
問4. くるりんバスの回数券が11枚1,000円で、奈良交通祝園案内又はバス車内で販売されていますが、あなたが利用する際の運賃支払い方法は次のうち、どちらですか？（選択肢：現金、回数券、現金と回数券）

利用方法は、「現金」が100件（71.4%）と最も多く、次いで、「回数券」が38件（27.1%）、「現金と回数券」が2件（1.4%）となっている。



問5. 精華くるりんバスを日常的またはときどき利用する理由はなんですか。

利用する理由は、「運賃が安い」が111件（40.8%）で最も多く、次いで、「利用目的にルートが合っている」が82件（30.1%）、「公共施設に行くことができる」が51件（18.8%）となっている。

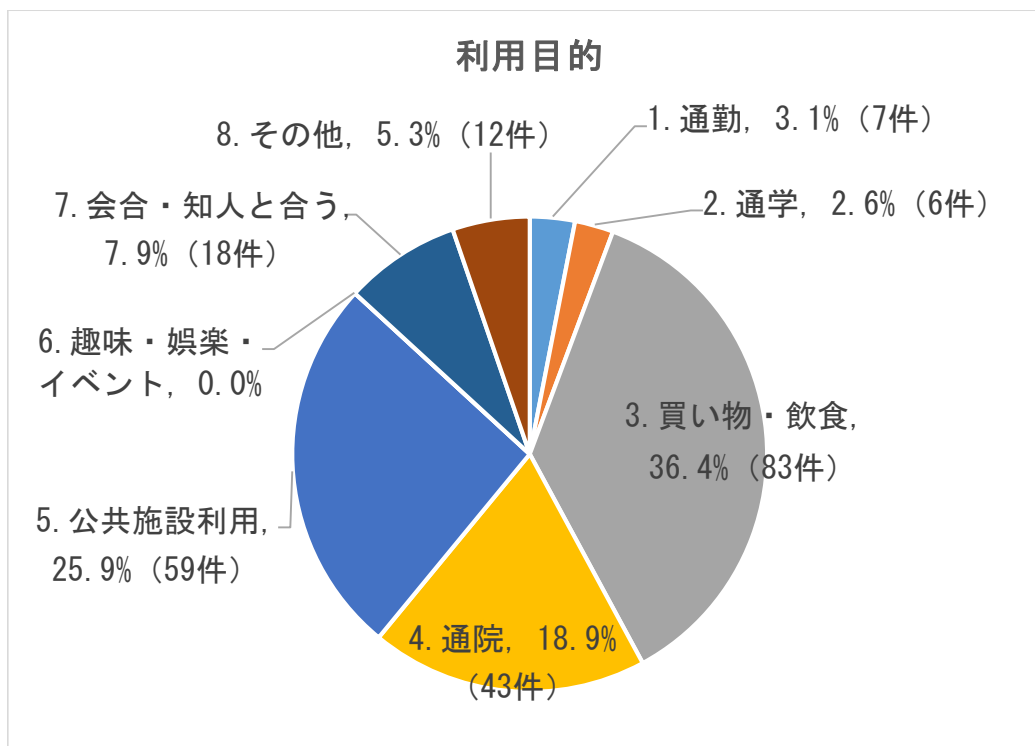


〈その他の内訳〉

理由	件数
病院	2
時間に余裕がある時	2
体調悪い時、暑い時、寒い時、重い荷物がある時	1
車が車換えでない時	1
飲み会に参加する時	1
習い事に通う為	1
子供がバスに乗って出かけたいと話す	1
病院の帰りに	1

問6. どのような目的で精華くるりんバスを利用されますか。

利用目的は、「買い物・飲食」が83件（36.4%）と最も多く、次いで、「公共施設利用」が59件（25.9%）、「通院」が43件（18.9%）になっている。

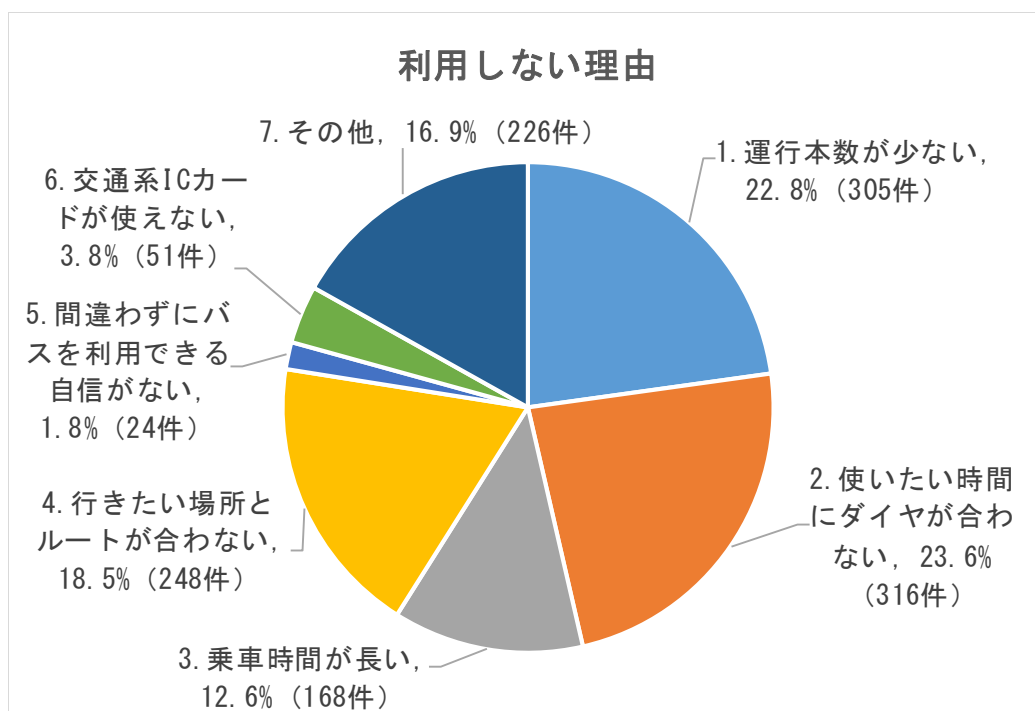


〈その他の内訳〉

目的	件数
駅まで	6
老年会など	1
実家に行く	1
桜が丘の親類と食事会	1
散髪	1
旅行	1
習い事	1

問7. 精華くるりんバスを利用しない理由はなんですか。

利用しない理由は、「使いたい時間にダイヤが合わない」が316件（23.6%）と最も多く、次いで、「運行本数が少ない」が305件（22.8%）、「行きたい場所とルートが合わない」が248件（18.5%）となっている。

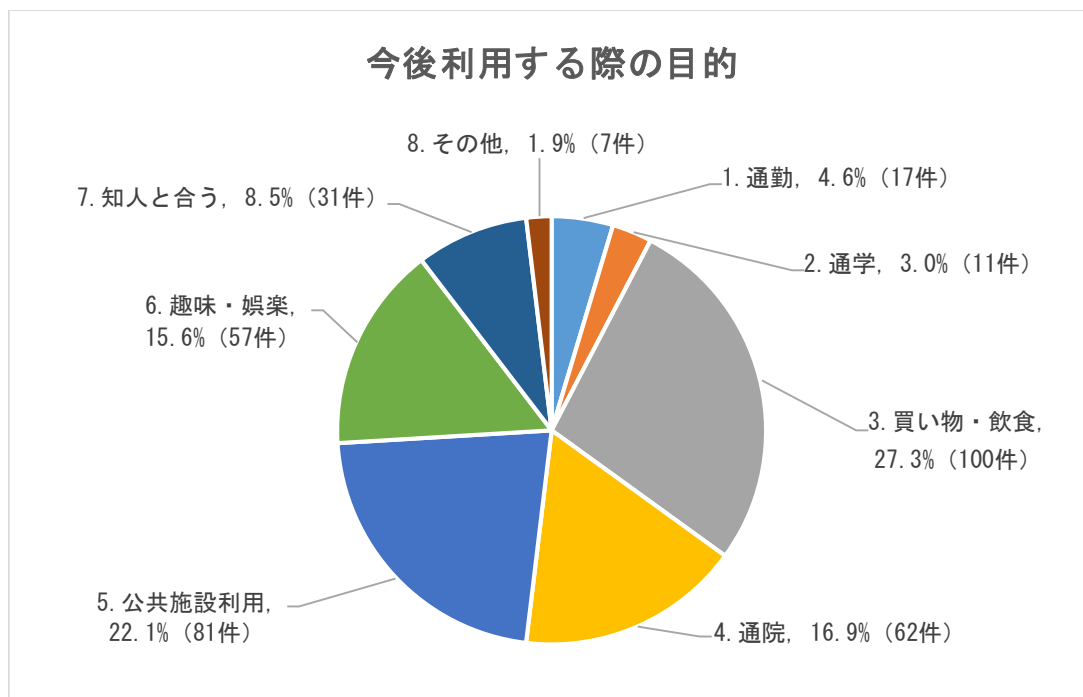


〈その他の内訳〉

利用しない理由	件数
自家用車や他の交通手段（自転車など）の方が便利	145
バス停が遠い	30
必要でない	17
利用する目的や機会がない	10
ルートやバス停の場所を知らない	5
奈良交通の路線バスの方を利用するため	4
車椅子・足が不自由	3
使おうと思わない	2
行き先に着いたとして帰れない	1
自分で移動できるから	1
家からほとんど出ないから	1
以前は利用していたが、かしのき苑に行く用事が少なくなりあまり利用しなくなった	1
ICカードが使えないから	1
一方通行なので片道が遠回りになる。	1
存在を忘れていた	1
そもそもバスを全く使っていない	1
買い物時の荷物が多いから	1
乗車経験がなく、一人で乗降することができない。	1

問8. 精華くるりんバスの時刻表と路線図を見てください。今後利用しようと思います

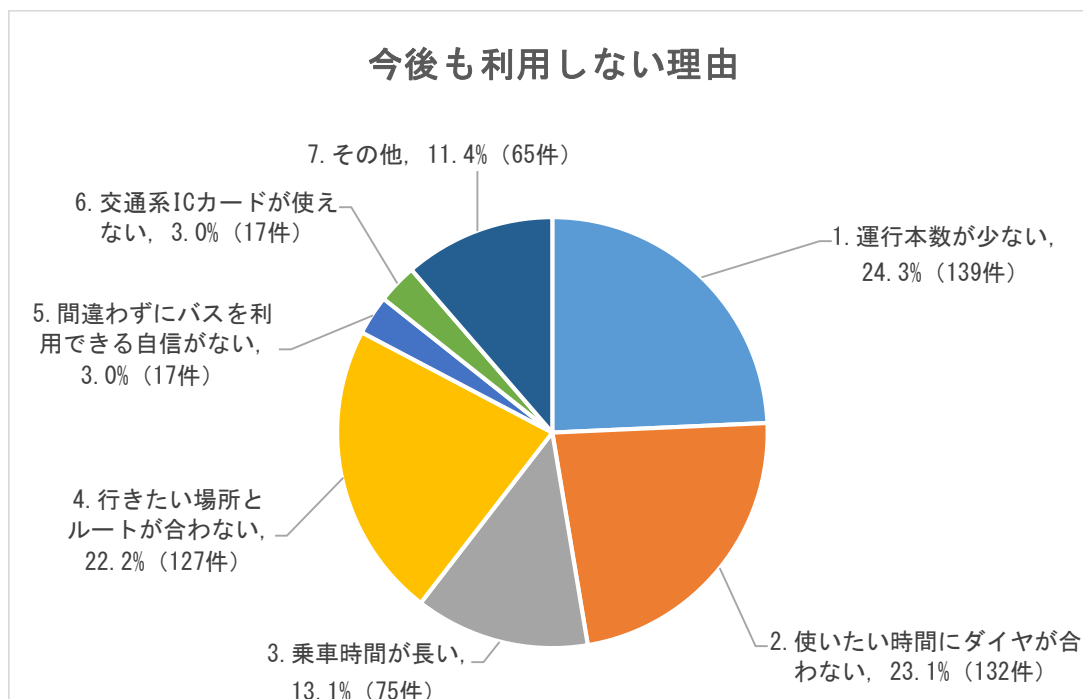
「今後利用する」と回答したのは208件（40.7%）で、その目的は、「買い物・飲食」が100件（27.3%）と最も多く、次いで、「公共施設利用」が81件（22.1%）、「通院」が62件（16.9%）となっている。



〈その他の内訳〉

理由	件数
歳を取ったら利用する	1
免許返納したら利用する	1
目的地に駐車場がない時	1
運行本数が増えれば	1
親族に合う	1
駅に行くため	1
運転をやめたときには	1

「今後利用しない」と回答したのは302件（59.2%）で、その理由は、「行きたい場所とルートが合わない」が25件（28.7%）と最も多く、次いで、「使いたい時間にルートが合わない」が16件（18.4%）、「運行本数が少ない」が15件（17.2%）となっている。



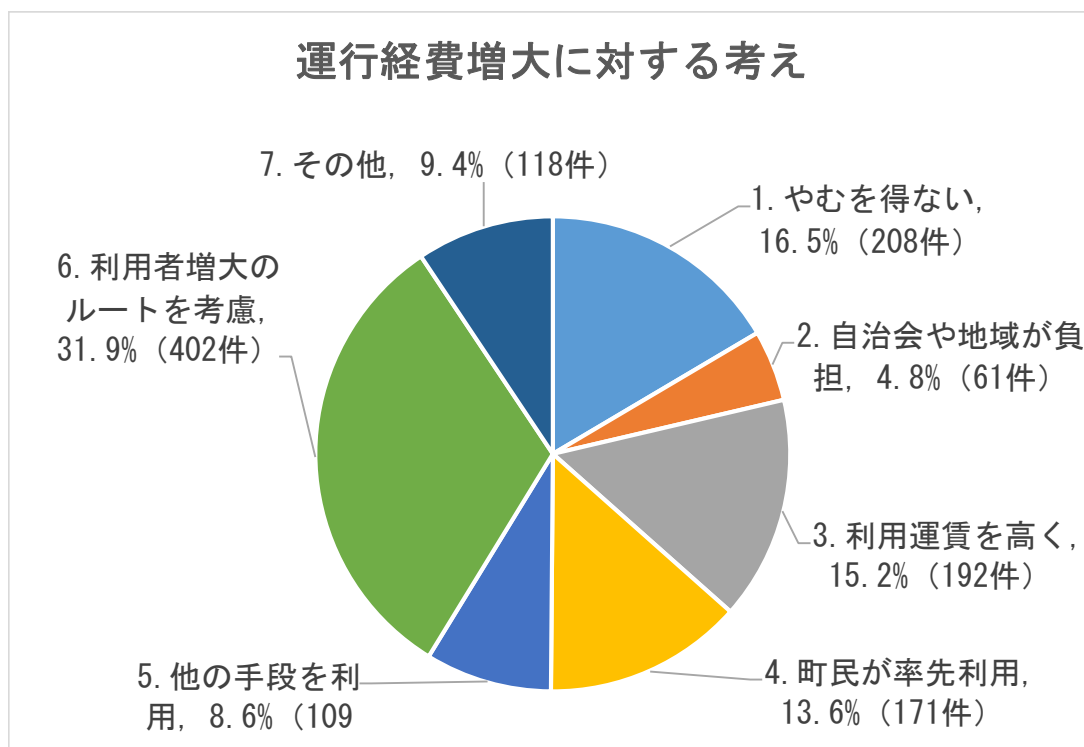
〈その他の内訳〉

理由	件数
自家用車や他の交通手段（自転車など）の方が便利	23
必要でない	13
バス停が遠い	12
車椅子・足が不自由	3
本数が少ない	3
駅の東ルートと西ルートをスムーズに結べてほしい。	1
歩けるのは1時間ほど歩いて目的地まで行く	1
また自動運転ができるので	1
本当に乗車して調べるといのは？	1
行き先に着いたとして帰りのバスがない	1
今のところ、家族が運転することで行動できる	1
バス時間に縛られるのが面倒くさい	1
奈良交通の定期がある	1
小学生でまだ一人でバスに乗ったことがない	1
バス停の場所が曖昧でわからない。例：「精華台」精華台のどこ	1
免許返納までは利用予定無し	1

※本来、問2で「知らない」と答えた数と問8の回答総数が同じになるはずであるが、それ以外の回答が多数あったためサンプル数が多くなっています。

問9. くるりんバスの運行経費が増大していますが、どのようなお考えをお持ちですか？

運行経費増大に対する考えは、「利用者増大のルートを検討すべき」が402件(31.9%)と最も多く、次いで、「やむを得ない」が208件(16.5%)、「利用運賃を高くすべき」が192件(15.2%)となっている。



〈その他の内訳〉

考え	件数
運行本数を増やすなど、利便性の向上を図るべき	33
廃止すべき	21
運行ルートの効率化を図る	11
バスの小型化など現在の形以外もので考える	8
高齢者や障害者に配慮した運行をすべき	8
存続してほしい	7
運賃の仕組みを工夫する	7
ルートやダイヤのPRが必要	5
わからない	4
決算状況を知らないのでわからない	3
国費の活用を検討すべき	2
賃上げはやむなし	2
商業施設の割引券発行などバス利用者にメリットがある仕組みを考える。	1
学研都市と言うからに、地元の人達に配慮してほしい。	1
若いので考えたことがない、利用する時に考える。	1
くるりんバスを利用しないため特に何とも思わない	1
個々人の電話で呼び出し、タクシー化すれば年寄りには便利。	1
奈良交通以外にも競争させるべき。	1
朝夕混雑していると聞いたことがあるので町民と料金の差別化をする。	1

問10. 公共交通について、ご意見、ご要望がありましたらお聞かせください。

○バスの利便性に関する意見 (1/4)

山田川駅に17:15着のバスがあれば、時々利用できる。
北ルートでは役場に行きづらく、祝園駅西口から歩く必要がある。(足がづらい) 祝園駅西口から時間連絡しているが、乗り継ぎだと200円が必要で一律100円とはいかない。(乗ったことがないのでそう思っている。北ルートの終着駅は役場にしてほしい)。
姉が精華西中学校に通っていますが、雨の日などバスを利用します。往復乗ると、600円もかかります。通学時間にくるりんバスが利用できるように考えていただくと嬉しいなあと思います。共働きのので、送迎できないことも多くあるので、考えてほしいです。今回、時刻表を見て、精華台のどこから乗れるのか。よくわからずすみません。
ある拠点から駅まで一気に短い時間でつなげるダイヤがあると嬉しい。例えば、東光小一新祝園など
利用したいが、本数が少ない。バス停もわかりにくい場所にある。全員に周知徹底する努力をすべき。本当に必要としている人がいると思うので、経費がかさむからといって廃止するのはいかがなものかと思う。
高齢者の買い物には自家用車よりくるりんバスなどで対応できるようになったら。町としての負担が増えたとしても町民のためになっていると思うので、もっと、バス停を増やしたりした方がよいのではないかと思います。
くるりんバスは回数がないので、むくのきセンターも行きたいが、乗り継ぎができません。
まず、精華くるりんバスの路線図を知らなかったし、最寄りのバス停がどこかも知らなかったので、もっと多くの人に分かりやすいように提示してほしいです。
精華くるりんバスは公共交通バスとは言えません。かしのき苑で職員の方と話をした後、バスが来る近い時間くらい待たないとくるりんバスは来ません。帰り祝園駅に歩いて帰ります。本数もなく赤字ですからくるりんバスは廃止にすればいいと思います。議員の方も自分の地域がよければと思っているから不便なところがありながら議会で意見も言わない。年寄りにはタクシー券(3割引くらい)一年に何枚かください。くるりんバスの赤字は解決しないと思います。
バス利用は便利と思いますが、利用方法がよくわからない。利用場所としては役場けいはんなプラザはよく利用するので使いたいが、バスが空車で走っているのに誰かどのように利用しているのか、もう少し利用者が増やすよう町民に分かりやすく再度説明お願いしたい。住んで15年になるが分かっていません。
調査対象の母です(中学生のため変わりに記入します)。バスの運行は若年層よりむしろ、老年層に合わせた検討をするなど、必要とされる方にあったものを検討すべきではないでしょうか。免許返納などを促進して、健康的な生活のため外出の促進をするのであれば、そのような方が使いやすいルートなど検討できないでしょうか。例えば、病院や役場など通いやすい支援になる運行などがあると思います。車がなくては移動が難しい方が助かる仕組みにして頂けるといいと思います。ウーバータクシーのように、予約して乗車すると割引して乗車できる(一部を町負担のため)などすればインフラは従来の者を活用して運用できます。乗車用のicカードを町が発行して一部負担するなどでもできそうです。高齢化が進むことが予想されますので、コストは少なくともおおくの方が使いやすいものになると結果的に多くの方に喜ばれるものになると思います
精華くるりんバスを学研奈良登美ヶ丘駅や高の原駅に入れてほしい。朝の7時(8時)からの山田川駅ルートを利用しているが同じ時間に祝園駅行きルートがないので新ダイヤの時は作ってほしい。(役場に行きたいとか)。17:00からの山田川駅方面に行くバス(祝園駅発)がないので不便です。東畑バス停を東畑集会所のJA前(前あったところ)にあると便利だと思う。奈良交通バス登美ヶ丘駅方面の朝に(5:00~6:30)バスがもう一本あったらいいと思う。平日6:09(休日6:29)光台8(56系)より前に一本バスが欲しいです。精華くるりんバスはもう必要なバスになっているのでこれからもお願いします。A4サイズより大きい時刻表を作してほしいです(見易いものに)精華くるりんバスでCI-CAを使えるようにしてほしいです。
私はかしのき花、むくのきセンターと毎週通っております。今のところ自転車で行っていますが、くるりんバスを利用しようと思っても一旦祝園駅まで自転車に乗っていかねばなりません。管井、馬淵から直道の精華台通っていくルートがありませんので、しんどいですけれど自転車で行ってます。むくのきセンターも雨の時はくるりんバスを乗り、12時45分に着きますが帰り4時4時30分くらいの管井方面に行くバスがないのでだれかに乗せてもらって帰ります。バスのことよりも公共事業の場所が不便なところにあるのか難点です。駅の近くか役場周辺の所で趣味イベントができればと思います。
学研奈良登美ヶ丘から光台及び祝園駅行きバスの便が少なくとても不便！せめて祝園駅からの標に15分に1本はほしいところだ。このままだとバスを使い旅気持ちあってもマイカー使用とならざるを得ない。
一律100円は奈良交通より安いと思います。(東光小学から祝園利用)。ただ、時間が合わず、利用できません。通勤にも利用できるよう早い時間から遅い時間までできれば利用したいと思います。
路線バス利用者のニーズに合わせて、ルート、便時間変えれば、利用者増えるのでは？奈良バスと競合するが、土日は増便してはどうか。学研奈良からのルートはどうか、または鹿の台ルート。需要は病院、買い物が多いと思うので、ルート短くて便数増やしては。
いつもありがとうございます。ぜひ逆向きルートを検討してください。使いたいのにはルートの関係でとても遠くなり使えないことがよくあるので。
くるりんバスを利用する一番の理由は、一律100円の安価な運賃です。所得の少ない人にとっては、運賃の安さで助かっている人も多いと思います。ただし、本数の少なさや、目的地に直行できないといった不便さも感じます。便利さと言うなら、タクシーを使うのが一番です。私は働いているので必要ありませんが、所得の少ない方で妊婦や病気の方など、現在の町の制度から漏れていて、かつ負担の少ない移動手段を求めている方への制度が充実すればと思います。最後に制度を変えるということは、町職員の方々の仕事が増えるということだと思います、職員の仕事をむやみに増やすということは、税金の無駄遣いになりかねないので、バランスの良い検討をお願いします。
近い将来利用するようになる(免許返納)と思うが、乗車時間、ルートなど再考の必要があると思う。これから桜が丘も高齢化が進み利用する人は増えると思います。
くるりんバスは大切な良いものであるが、利便性、経費面を考えると、現在の本町には大きすぎて、贅沢なのではないか。便数を増やすのもとても大切だが、増やすほど赤字幅が大きくなる。3000万以上の負担はやはり問題だろう。その程度の負担で他のもっと便利な手段を考えられないか。例えば、大型タクシーのような(9人のり程度)もので、小回りがきき、村の中に入り込め、担当従業員の賃金もそれほどかからず、車体関係費用が抑えられれば、便数を増やすこともできる。くるりんバスには愛着もあるが、今より乗客が増える見込みも難しく、思いきって他の公共交通手段を研究して、変更していく観点が必要なきにきていると考えます。住民を巻き込んで広く検討してください。桜が丘から役場などに行く線は絶対必要で、公共交通は重要です。
地域の高齢化を考えると、精華くるりんバスの必要性は今後増やしていると思います。ただ全ての人に利用いただくためには、近接するバス停を合体するなどして、乗車時間の短縮をめざしてはどうでしょうか。乗車時間が長いとの不満をよく聞きます。
新祝園駅までのバスの本数を増やしてほしい(逆も) 10:30頃から14:00頃を1時間に2本くらい(買い物、病院など)に出かける時間がこの時間帯が多い(ため)：奈良交通バスの新祝園駅から東畑ルートの復活を希望します。小型バスで良いので、精華台で降車、乗車はとも不便なのです。
自分自身で車を運転できない年齢や状況になったとき、どのように買い物や役場に行けばいいか。困っています。公共交通は電車しかないで、足が不自由になったら乗り降りできない。その頃には夫婦とも年金生活で運賃も負担になるのでは？便利さと引き換えが納得できるならある程度の料金負担はやむを得ない。でも今のくるりんバスは運行本数が少なく、乗車時間が長いので、便利とは言えない。けいはんな、アピタ、役場、かしのき苑などよく行く場所施設へ直行する便があってもいいのでは？利用者が少ないと実現しにくいでしょう。もっとPR、便利さが広報され、乗り合う人が集まるような仕組みがあればいいのに。友人など仲間作りが必要でしょうか。時間短縮と好きな乗車時間帯がポイントではないでしょうか。
私は車に乗れないのでバスと電車を利用しています。最近、大企業ができて朝、夕の通勤時間帯にバスの本数が増え、以前に比べると少しましになり助かっています。昼間も増えてほしいと思いますが、乗客が少ないので、したくないかとも思っています。今は利用する機会がないのですが、くるりんバスとは町民の足となるバスだと思いますので、料金はあげず、ルートも町民がもっと利用しやすいように考えていただけたらと思います。よろしく願いいたします。
通学に利用したいが、時間帯が学校登校時間ギリギリのため利用しにくい。もう少し時間、本数があると是非利用したい。
もっと本数を増やしてもらえると利用することが多くなるのに。
くるりんバスの乗車率が低く、コストが高くなっていると感じる。昼の町民の足としての運用なら、バスでなく、10人程度乗車できれば良いと思う。通勤に使用してほしいのなら、せめて19:00台まで運行してほしい。(通勤には奈良交通のバスをということならくるりんバスの運行をやめ、代わりに昼間のみ、小型の車で運行するのが良いと思う)赤字を出してるから運行を続けるのは利用者以外の負担が増えて不公平。
バスの運行本数を増やせば車での移動も減ると思うので、増やしてほしいです。
運行ルートを変更してもらえませんか。11回回数券をなくす方向でよいと思います。

○バスの利便性に関する意見 (2/4)

<p>毎日、バスを使用して通勤していますが、光台は通勤には非常に不便な場所だと感じています。路線バスの本数が少なく、駅に行くにも時間がとてもかかります。くるりんバスも通勤時に使用できればと思います。また行き先も、山田川駅へ行くのであれば学研奈良登美ヶ丘駅にも行くようにしていただきたいです。</p>
<p>20年前の子育て中に自家用車が故障し、何度か利用しかしのきのプールに行きました。その後は利用する機会がなかったのですが、先程時刻表を20年ぶりに見て、あ！車が利用できない時にアピタ方面に行ける！と初めて知りました。奈良交通のバス1本で行くことのできない場所なのでありがたいです。あと、自家用車のない方や免許を返納されたらとってはくるりんバスはありがたいバスだと思いますので、続けてほしいです。いつもありがとうございます。通院や友たちと会ったりするのに祝園駅に行くのにくるりんバスが使えたら安くていいと思う。私の実家のある町では隣町にある大学病院ゆきのルートがある。自分で車を運転しない人には助かると思う。自分も将来車を手離した時に病院(例えば山城病院など)直行のルートがあれば使いたい。</p>
<p>バス停と地域住民の近くに。里区住民ですが、府道にバス停がありますが、あまりにも遠い、公民館等にバス停があればと思います。</p>
<p>近鉄、JRとバス(祝園駅)の発着時刻が運動していないため(特に近鉄はひどい)、近鉄急行が駅に着いてから発車時刻に間に合わせようとしても、バス停までは高齢者は間に合わない。次にバスは30分待ちとする。タクシーに乗らせるために調整しているかと思うほど。最終的に自家用車を利用して、送迎してもらうことになる。自家用車のロータリーに車が増えることになる。</p>
<p>近くにバス停がないので利用したくてもできない。車を使えなかったり、雨の日に利用したいが、本数も少ない。自分は今のところ利用することはないと思うが、ご年配の方や車を所有していない方、駅から遠い方に便利に使ってもらえるようにしてほしいです。</p>
<p>一度乗ってみたいと思うが、実際に用がある時には役に立たないので利用したことがない。</p>
<p>時間と時間の間が空きすぎ。又、中間はもっと空きすぎで、片道はバスで出かけ、帰りは電車になってしまう。もっと回数を増やしてください。又、一時間に一本とするなら()分と一定にしてくださいと予定が立ちやすい。狛田東と舟の間が長すぎるので、間に停留所を作ってください。バスの運転手さんは、皆さん優しく嬉しそうです。</p>
<p>交通系ICカードが利用できれば良い。携帯などネットで乗り換えや行き方の検索をした時に、奈良交通などのバスと同じように検索に上がってれば便利。くるりんバスの時刻表を取出してきたり、別で調べるのは手間がかかる。くるりんバスの近隣のバス停にもくるりんバスの時刻表と乗り場の案内板を設置してはどうか。隣のバス停で同じような特着時間や奈良交通にない路線があると知ると、利用しようと思う人が増えるのでは。現行の案内板は、周知するには弱いような気がする。普段、自分の車で移動して行く人がくるりんバスを利用するよう促すのも大事だが、現在奈良交通のバスを利用している人が、くるりんバスへの利用に移行してもらえるようにするのも良いのではないかと思います。</p>
<p>桜ヶ丘は町役場。図書館かしのき苑、むくのきセンターなどに行くのが、車を運転しないと、すごく行きにくい場所になります。今は、自分で運転するので、いいのですが、将来、免許返納したら、イベントの参加や役場への用事はどうすればいいのかと思います。だからくるりんバスは必要だと思うのですが、本数が少なすぎると思います。</p>
<p>むくのきセンターや保健センターに行くのに片道しかないのは使いにくい。狛田方面の運行を今のまわり方と逆のまわり方交互にしたらどうか。特にむくのきセンターは車のない人は行きにくい、祝園駅東口とはく田駅の間を1時間毎くらいに往復する便を作ったらどうか。近鉄けいはんな線の京都府延伸を早期実現する。リニア駅を学研都市駅として木津駅付近とし、京都、奈良方面の路線を強化する。</p>
<p>時間が合えば利用したいと思いますが、今の本数だと難しいです。奈良交通バス料金が高いので、くるりんバスは助かっている人は多いと思います。</p>
<p>今は、自分で運転していますが、今後、このようなバスを利用しないといけないかと思えます。ですが、いまのままでは、利用しにくいです。どこに向かって走っていくのかさっぱりわかりにくい。あまりにも本数が少なく町民に利用にもらいたいと思気です。</p>
<p>運行経費がかかっているならば一度見直す必要があると思います。利用された年長者が車もなく行きたい所にいけないのも不便とされるなら、タクシーのチケットを補助するとか、高齢者には公共バスの無償にするとか、小型の乗り合い乗用車にするとか。大型バスを空で走らせているのはもったいないかなとも思えます。(今の利用者数はわかりませんが。)</p>
<p>本数が少なくもうすこし増やしてもらいたい。</p>
<p>母が仕事で忙しい時、妹とたまに利用しますが、小学生の子供だけでも安全でわかりやすく乗れたら僕が妹をバスで連れて行くこともないのにと思いました。桜ヶ丘から役所方面への朝の便が遅すぎて利用できず不便だと母が言っていました。うちの家みたいに父しか運転ができない家にとっては公共交通機関が発達していないと雨の日は非常に不便なのでより充実したルートと便数を希望します。精華くるりんバスもよくカードが使えたらいいのにと思いました。利用者の多くは高齢者の買い物だと思えます。何本かの路線を決めて、日帰りで最寄の商業地区へ、できるだけ短い周期で往復運行するほうが利用しやすいのではないかと思います。</p>
<p>各バス停に停車するバスと乗車人数の少ないバス停に分けて時間帯を区別してはどうかと思います(駅に着く時間が短縮される)。奈良交通の時刻表の隙間を狙った時刻表にする。学研奈良登美ヶ丘迄経路を設けてほしい。</p>
<p>あまりにも運行本数が少なく利用しにくい。今後、免許を返納した時、バスに頼ることになる。もう少し、本数を増やしてほしい。バスにこだわらなくても、車を持っている人が町と連携して、タクシーのような役割を果たすことも考えられないのか？もっと小型化して、運行できないか？町の催しに合わせて、6~7人乗りの送迎車を運行している市町村もある。費用のかからない取り組みを考えてほしい。</p>
<p>1. 現状の運転本数ではせいぜい片道利用が限度; 2. 奈良交通バス路線のある所は、高齢者に割引チケットや無料バスで援助し、バス路線のない所や少ない所と駅や光台にくるりんバスダイヤを集中し、運行本数を増やすことを並行して利便性をよくする; 3. 町主催のイベントが有る時、車での乗り入れを制限するが、むくのきセンターなどへは、祝園駅からのバス、くるりんバスのピストン運転で対応してほしい。</p>
<p>子供が小さい時、車に乗らないので利用してました。安いで利用したいが、本数がない、増やしてほしい。</p>
<p>もう少し運行本数を増やしてほしい; 料金と距離を合わせて値上げしても良い。</p>
<p>利用したいが、くるりんバスの本数が少なく、また路線バスが廃止になった区間のためやむなく自家用車での利用になってしまう。人口の減っている地域のため仕方ないだろうがこの先不安しかない。</p>
<p>光台南と祝園駅或いはアピタ間を利用する場合(個人的利用事情)シーカのみ乗り乗車料金を利用します。くるりんバスの100円は魅力ですが、東畑経由がネットとなります。時間を優先させるか(短時間)、乗車金を優先させるか(100円)で短時間を取ります。無職とはいえない。東畑を経由しないのであればもっと利用する。東畑地域の方々にとっては駅までの或いはアピタまでの直行が望ましいのでは。(備: 娘は月に数回利用しています。祝園駅からさらに遠出のため数百円浮かせるため。</p>
<p>子供の話ですが、精華台、光台方面から雨天時など南陽高校へ登校する生徒に7年ほど前のダイヤはよかったのですが、改正後ダイヤでは間に合わなくなり、乗るのをやめていました。もうあと10分ほど祝園発のバスの時刻を早めれば今より増えると思えます。</p>
<p>利用者が少ないのが原因かもしれませんが、舟、滝の鼻地区は、一方方向なので、目的地まで時間がかかるので、ちょっと考えます。本当は利用したいとも思いますが、回数を多くしてください。</p>
<p>桜ヶ丘から役場や図書館、むくのきセンターに直接行けば、バスかくるりんバス以外にないので、これからも続けてほしい。週2とか週3で分かりやすい時間に進行してほしい。毎日毎月でなくてもよく、利用代金も値上げをしてもよいと思う。今は、自家用車で移動しているか、遠い将来は、年齢的に運転は難しくなるだろう。息子や娘は独立した家庭を持っているので気軽に頼める環境ではない。これからはくるりんバスは基本的には続けてほしい。</p>
<p>ルートの見直し 特に登美ヶ丘駅、高の原駅など需要が大きい(15年前と比べ大きく発展)な所を検討してはいかがでしょうか。変化の激しい時間に15年も同じルートで実証し、赤字うんめんの議論よりも、もう少し市民の立場或いは経営の面からの工夫(ルート偏向追加など)をして頂きたい。(くるりんバスは利用として、乗車時間は長い100円がいい方(便数少ない方)でしょう。費用高くても通常奈良交通バス急ぐ方などは乗らない。登美ヶ丘、高の原もくるりんバスは魅力あると思います。</p>

○バスの利便性に関する意見 (3/4)

行きはバスの時間に合わせていけるが、帰りのバスの本数が少なく、せめて1時間1本の運行してほしい。
下粕田周辺には買い物をするところが全くなく不便です。山田川まで行くのに1時間以上かかるのはきついで、下粕→新祝園、下粕→山田川 下粕→アピタ、コーナン前など直通を作っていただけとありがたいし、もっと乗車すると思います。
高齢化社会になる現状でコミュニティバスは絶対必要。利用したくてもする気にならないと思います。せめて1時間1本、運行本数を増やして、分かりやすい時刻設定にした方が、利用者も増えるのではないかと思います。精華町が住みやすい街であるために、経費の増加は仕方がないと思います。高齢者ドライバーの事故が増えていることも深刻です。精華町が安心して住みやすい街になりますようお願いいたします。
もっと小型でよいから、往復運行して利便性向上に努めてほしい(木津川市のバス程度走っているともっと利用すると思います)。
利用目的によって意見希望は異なると思います。通勤、通学、通院、お買物等。近鉄、JRを利用される人、地域の医療機関・スーパー・公共施設等を利用する人、車を運転する人・しない人。駅から遠い地域に住宅のある人。なので、目的を絞って納税者の理解を得て必要な費用は税金を投入することになる。菅井あたりから北方面にはあまり用事が無い。役場やアピタ、ピエラタウン方面に直通する便があれば乗るかもしれない。
坂道がたくさんあるのにバスが通ってないので、乗りたくてもバス停が遠いため利用できない。学生も利用しやすいように朝や夕方本数を増やしてほしい。
今のところ自分で運転して出かけていますが、今後は利用すると思います。乾谷のバス停まで歩いて行くのが大変という声を聞きますが、利用運賃が少々高くなってもきめ細かいルートやバス停があればいいなあと思いました。
もう少しくるりんバスの時間を増やして欲しい。
バス停毎の利用者数・利用時間帯の頻度等のデータがないので要望がわかりませんが、他地方等で採用している乗合タクシー・予約乗合タクシーなどで対応できないか？それ以上に利用数が多いならば、マイクロバスなど少しでも経費削減策を探す。祝園駅まで電車なら5分なのに、バスなら40分かかかるなど。利用者は駅まで歩けな年配者が多いのか？年配者は時間があるので、バスを利用しているのか？*年配利用者にバスの中でアンケートを配布して実体を把握して、対応してみてもどうか？
桜が丘と光台・精華台への交通の便が悪いと感じます。くるりんバスを残すにしても廃止するにしても町全体の利便性を向上させることが必要です。くるりんバスを残す場合、平日と休日のダイヤを変える(平日は今のままでいいと思うが、休日は朝便をやめて夜便を作るとか)など利便性向上を図ることで利用も増えと感じます。廃止する場合は奈良交通の路線バスを拡充するなど桜ヶ丘と光台・精華台への交通の便及びくるりんバスとか交通の便がない地区への配慮は必要だと思います。
もう少しバスの回数があれば助かる。
「精華台4、5丁目→往復←祝園駅」と「精華台4、5丁目→往復←学研登美ヶ丘」への本数が少ないので電車との繋がりも悪いので、やむをえずマイカーで駅まで行かざるを得ないことがあるので、バスの本数を増やして欲しい。くるりんバスの運賃を多少上げても良いと思うので本数を増やして欲しい。
空車の時が多くなるのを見掛ける。お金の無駄である。他の方法はないのか。いつか足が不便になった時もっと別の手段があればともう。本当に今のやり方は無駄である。少数意見を大事に取り上げてくださればと思う。
くるりんバスの利用者と目的を調査して必要なコースだけの運行にしたり、不必要な大きな奈良交通のバスを使わない等。もっと利用が増えるとか利用者にとって便利な方法やコースに変えるべき。無駄なコースを走って目的地までグルグルと長時間乗らなくてもいいようにしたり町のマイクロバスを利用すべき。
役場、学研都市病院、かしのき苑等へ行くのに便利に使えるようルート、本数を考慮すべき。運賃が高くなっても利便性があれば町民は利用する、特に高齢者には。
近くにバス停があれば利用してみようと思うのでルートなど考えていただけたらと思います。
とても便利なのに本数が少ないのが非常に残念。施設利用に使用したいのに利用時間前後になってしまうことが多くあり違う交通手段を使うことになる。
問9でも書きましたが他には路線をもう少し増やして欲しい。それに乗車時間が悪い等。
もっと本数を増やすと乗車する年齢層が広がると思う。子供のいる家庭は電車よりもバスに乗った方が少し安心な気がする。あと乗っている時間も結構長いと思う。
むくきセンターでの利用に使用したいのですが、本数が少なすぎる。始発のものでも9:12ではイベントに間に合わない。(光台から始発のくるりんバスは通っていないので、奈良交通を利用して駅まで行っています。)光台からむくきセンターまで、家の車で15分でいけるところ、1時間近くかかる。祝園駅西口へ着いたのに、また15分かけて祝園駅東口へ戻って来る。むくきセンターで精華町主催のイベントがたくさんあるのに、くるりんバスを利用できず、参加できないのはおかしい。精華町のバスなのに。台数を増やす、ルートを分ける、本数を増やす等してほしい。せっかくのくるりんバスなのに、意味がない、もったいないと思います。光台方面からの始発で直接むくきセンターへいけるようにしてください。9:00イベントに間に合うダイヤをお願いします！！
住む場所により交通難民になりかねない。祝園駅西口はバスの発着が多いが東口はくるりんバスだけで利用者もいないと言うのも本数が屋間の少しの本数では誰も利用しないと思う。ダイヤを根本的に考え直して欲しい。
運行時間の見直しが必要だと思います。2時間に1本では使いたいと思う時間帯にくるりんバスがないので、やはり奈良交通のバスを使ってもらう。車の運転をするのであまり必要性を感じない。
引越してばかりと言うこともあり、バスを利用する際とてもわかりづらい。駅前バスに乗り、学研都市病院までいこうとするとどこで降りれば良いのか？学研都市というバス停で降りると徒歩1時間半(子ども3人がいる)もかかってしまった。バスに乗らずに歩いてくればよかったと後々後悔する。結果今だにわからず自転車通勤することになり、日々疲れて戦っている。バスの路線を明確にわかりやすいものを配布してもらいたい。
行く時はバスに乗っても(通院・買い物)帰りにバスがない。タクシーか徒歩にする。不便です。
車を持たない生活をイメージしていたが、アピタ、ラムー、コーナンなどへのアクセスが不便であり、荷物も多いので現実的ではないと思った。できないことはないが、幼児もいる中では困難である。馬淵からだ駅まで行き、乗り換えた場合には二回分の料金が発生するの？疑問に思いながらもそのままである。保育所や小学校へのバスも利用できない夜遅くには運行してないので通勤にも利用できない。連節バスもあり、すごいと思う。用事や小学生対象として体験させると良い。
住民の移動手段としてとても大切なものだと思います。利用者数走りますが、人数の少ないコースや時間帯はマイクロバスとかもう少し小さく燃料の良い車にするとか、何か工夫できないでしょうか？
くるりんバスについてはもっとバス停を増やして利用しやすくしてもらいたいと思っています。
例えば、図書館(役場)などへ行くのに10分もあれば着くのに、今だと40分、往復80分もかかります。週に一回～二回でもいいので、直通のような短い時間で行ける便があればもっと利用できるのに...と思います。
高の原駅、学研奈良登美ヶ丘駅にも行って欲しかったら便利だと思うのですが。
地球温暖化の防止のためにもできるだけマイカー利用を避け公共交通機関を利用する方が良いと思う。その為には皆が利用しやすい利便性を追求する必要があります。
ルートや時間等更に町民のニーズに合わせて欲しい。最近自動車が増えて行く為空気汚染や騒音が激しい。自動車を減らす為にも公共バスを増やして欲しい。
精華西中学校へ通学する学生はくるりんバスをよく利用するそうです。でも雨の日は会社員の方々も多く乗車し、大変混雑していると妹から聞きました。バスの本数を朝の通学時間帯のみ増やすなど何か改善されると良いと思います。
運行ルートやダイヤ、いろいろ考えてくださっていると思いますが、利用するには不便すぎる。近くのバス停は精華南中学校ですが、役場へ行くとしたら、40分もかかってしまうし、本数も多くないので、一本乗り遅れたら、かなり待たないといけなない。山田川駅から祝園駅の間も走らせて、右回りルートと左回りルートを作るのはどうでしょう？
車が使えない人でも不便にならないようにしてもらいたいです。
くるりんバスは運行本数が少なく例えば午前中のみ用事の場合、行きは乗れても、帰りは乗れないなど行動パターンと合わない。奈良交通のバスは本数はあるが高額で、かしのき苑やむくきセンターなど公共施設への乗り入れは無いので乗れない。この様な場所でイベントがある場合、大規模な時は巡回バスがあるけど、日々の小さなイベントには自家用車がないと行きづらい。
ルートが少しかなく利用できない。

○バスの利便性に関する意見（4/4）

個人的なことですが、仕事の都合上、山田川駅発の最終が17時54分発のところを18時半頃発にして頂くと、利用頻度はかなり増えると思います。ご検討いただけますと幸いです。
バスで電車の乗り換えの時間があわず待ち時間が発生することがあります。これが解消すれば、ストレスなく移動できるので良いのではないのでしょうか？
祝園駅まで行くのに路線バスで、往復はとて高いので片方だけくるりんバスを利用している。路線バスはもう少し安くないのか。くるりんバスは助かっているのでもっとだけ利用したいが祝園駅から山田川行きが17時に台にあつたら良いと思う。
高齢者等自動車運転免許返納者にとっては大事な交通手段となるので、利用しやすいルートや料金で利用者を増やす。100円はやすいように思います。全ての住民の足となる事は難しいと考えます。そこで年齢毎の利用地点（バス停など）時間帯のランキング表を作り、くるりんバスの目的とも合わせルートを決定すれば良いかもしれません。
精華くるりんバスを今は利用していないが、車を使わなくなれば利用したいと思います。精華町～生駒市間の交通ルートが現状では車が一番安いので、もっと苦境交通も充実させて値段も下げて欲しい。
もっと使いやすいように時間設定を変更する
私は精華台に住んでおり、まだ40歳の為、自家用車でしか移動しません。子供の通学時間には運行がない為、駅まで1日2～3往復する日もあります。本数の増便、時間の見直しがあっても良いと思います。（駅の混雑防止にもなります。）高齢化社会になり、免許の返納を考えると便利で使いやすく、運賃の安い路線バスは存続して欲しいです。ルートの見直し、時間の見直し、本数の見直しが必要だと思います。
利用者の少ない路線はデマンド型で運行する、タクシーの車を使用する。
学研病院まで乗り換えずに行けるようなルートがあつたら良い。
南ルートについて、南陽高校への通学に雨の日など子供が利用させてもらってました。奈良交通のバスは祝園駅行きと登美ヶ丘駅行きしかないの、大変ありがたいと思いました。ただ、本数が少なく始業時間ギリギリの到着でしたので、遅延していた場合、間に合わないときもあったようです。本数や時間を改善していただけたら良いなと思います。あと、祝園駅に行く際には奈良交通のバスの方が本数が多いので、そちらを利用する人が多いと思います。奈良交通のバスと被らないようなルートがありありがたく感じます。
車の運転が出来なくなった時に、線路より東側地域の住民にとっては唯一の公共的移動手段となる。そのため、くるりんバスが更に使いやすい交通機関となってほしい。
東西方向はバス路線はあるが南北方向がほとんどない。桜が丘→光台方向、山手幹線ルートなど。
もっと利用できるようにルートと料金を検討すべきである。現在は目的地まで行くのに時間がかかりすぎるので利用する気があまりない。
私も主人もまだ車が運転できる。くるりんバスは時間もかかるし本数も少なく一回乗って困りました。このままだと先々の不安がありますが、バスの通り道の自由乗降や買い物や病院が必要だと思いますので、そういうエリアへは本数も増やして欲しい。
これから免許返上者が増えます。精華町であれば、生協、アピタ、ラムーなどへの買い物に便利なルート、時間等を工夫して運営して欲しい。買い物だけじゃなく役場も。
奈良交通以外のバス会社を参入させてサービス競争を図るようにする（路線ルートを新設、運賃を安く定額一本にする等）
下粕駅付近には、あまりバスが運行していないように感じる。バスに乗ろうと思うと、祝園まで行かないといけなくて、不便であるように感じる。
私は高齢者講習終了証明書を取るために自家用車で外出目的で毎日運転しております。自家用車の運転ができなくなれば精華くるりんバスを利用するか、路線バスを活用することになります。問題点は乗車までの待ち時間、所要時間のいずれもが少ないほうを選択すると考えます。残りは料金の安さによりますが所時間（乗り継ぎを考慮に入れる）の少ない方なれば精華くるりんバス優先とは言えないケースが現れるかもしれない。
私事、最近多発の高齢者運転事故を考え、公共交通（奈良バス等）の利用が増えております。又妻は「運転免許自主返納」を行い全て公共交通を利用してあります。しかし、光台から通院・買物・役所手続き・駅への手段は難儀しております。奈良バス運賃も高額（駅まで320円/人、夫婦で往復1280円/日）です。年金生活者には「不便ですみ難しい町」となり残念です。どうか「科学する町」「先端をいく町」「住みよいを誇れる町」を目指して行政の実力発揮を期待しております。頑張れ！精華町！（高齢者もガッツリ・キッチン納税していますよ）
①バスの運賃が高い、学割の割引も小さい ②本数が少ない ③最終便が早すぎる ④近鉄ダイヤと合っていない ①から④の理由からマイカー利用、送迎するしかない。奈良交通だけではなく他社とも競争させる等手段を考えないといいほんなの魅力は減って行くと思う。
くるりんバスの乗客を見てもあまり乗っておられない。家から停留所まで遠い。不便だ。これからも利用したいとは思わない。
精華町ではくるりんバスが奈良交通バスしか選択肢がなく、くるりんバスも正直使い勝手が悪く、実際奈良交通を選ばざるをえない状況です。なるべくバスを使う様にしたいと思いますが、奈良交通は運賃が高すぎるので使用する側としては負担が大きすぎます。そうすると町民もバスを支えたくなくなるのでみんながバスを使おうと思える様になればいいと思います。
くるりんバスのところまで10分歩いていかなければならない。だから使いません。
数年前にたまたま役場で目の前に止まっていたので一度利用したきりです。今はまだ私の活動のリズムとくるりんバス運行のテンポが合いませんが、もっと年数が経ちの面からびりた生活になれば利用させていただきたく機会が出てくると思います。
環境保護の面から高齢者の運行免許返納のためにも公共交通機関が充実していくことは大切だと思います。自家用車を持つことが豊かなのではなく、時代はカーシェアリングへ、そしていずれは公共交通機関や民間のタクシーなどの充実で車を持たなくてもいい様な方向へ持っていければ排気ガスも減らし、いずれゴミとなる車の数も減らせて未来社会にきれいな環境を残していけると思います。とはいえ、今のくるりんバスは利用が難しい。我家から駅までだったら、大回りするバスを途中バス停で待ちながら乗るより歩いたほうが早い。国会図書館に行くにも行きは調べて時間を合わせてくるりんバスで行ったとしても帰りの便がない。それだったら駅まで歩いて奈良交通バスに乗るか自転車かと思ってしまふ。体力がなくなったらそれもきついのだからくるりんバスを充実しみんなが利用しよう！と思える様に帰ってほしいと思います。ちなみに我家は車がありません。
くるりんバスは採算が取れない様な民間が行かないところに行くことに意味があると思います。路線バスが行かないところへもう少し小さいワゴンやよく使う行先に限定して往復するようなバスや賞型の電気自動車でピストン運転して行くのは検討しても良いのではないのでしょうか。行きたいところへ遠回りして長い時間乗車するのは疲れるのではないのでしょうか。
くるりんバスはとりあえず使いづらい。価格は安いが不便なので他の交通手段となってしまう。
最低でも一時間に一本にしてほしい。
通勤・通学の時間帯にダイヤを増やし、利用増加に繋げる。
光台から桜が丘に行くバスがない。年を取って車の運転ができなくなれば鉄道利用ではあまりにも遠回りになるので、くるりんバスを利用する機会が増えるのももう少し時間を多くしてほしい。
ルートを絞って本数を増やす。例：一つのルートで本数多い方が、但し今の停留所は省かない。年寄り時間は時間がかかっても問題ないのでは。
とにかく運行本数が少ない。
新祝園駅まで行くのにバスで片道20分以上かかり、あまり有用性を感じない。子供の体験として乗車する程度。
奈良交通によるバスの運行本数は増え利用しやすくなったが、それは健康で身軽な人しか便益を感じられないと思う。子供を連れてベビーカーを押す女性、足腰に自信のない高齢者、障害者といった社会的弱者にとっては公共交通機関は不便なものであると思う。知的障害者は複雑な販売機に対応できず、困ることがある。それしかないから使わざるをえないが、できればもっと効率的な方法で移動したいと思う人が多い。仕方ない、と諦める人がほとんどだろう。
くるりんバスは2時間に1本では少ないと思うので、1時間に1本あれば利用する方もおられると思います。
運行本数が少なすぎるので、増やしてほしい。利用者のターゲットを高齢者から若者に変え、住宅街（人口密集地域）を通るルートに変更すれば、もっと利用する人が増えると思う。夕方以降、もう少し遅くまで運行時間を延ばしてほしい。
くるりんバスも本数が少なく、駅まで行くだけには使いづらい。普段の奈良交通バスも30分に1本しか間隔はなく、電車の時間ともずれていて、使いづらい。自転車置き場もわかりづらく、盗難が気になり、結局車の移動が多くなる。
南ルートで東畑停車場への巡回を廃止すれば山田川駅までの乗車時間が短縮できるので乗客が増える（そのために東畑一かしのき苑一役場一祝園駅行き新設する）。運賃を200円にするかわりに朝10～12時の南ルートを増便すればよい。
運行本数を増やしてほしい。乗車時間が長いので、ルートを見直してほしい。
運行本数を増やして、ルートを変更してもらえたらと思います。
京都、大阪へ仕事、遊びで行くことが多いが、とにかく不便（精華町）。交通費も高くつく。現在仕事をしているのでやっつけていけるが、仕事を辞めたら、もっと便利な所へ引っ越すつもりでいる。病院もない。急病の際命が危ないと思っています。
奈良交通の通常のバス（光台から祝園駅）の運賃が高すぎる。バスとして気軽に利用できる金額ではない。しかし、光台から駅へ行くには使うしかないため、非常に経済的な圧迫を感じる。そのためにくるりんバスを活用したいが、時間がかかりすぎる上、本数が少なく、全く使えない。急行を作って運賃を上げるなど、アイデアを出して改良すべきだと思う。

○高齢者対策に関する意見 (1/2)

自分自身は自家用車での移動がほとんどなので、あまり気にはなりません、実家の母は車の免許もなく、足も悪いので、買い物や通院にくりんバスを利用させていただいています。高齢化に伴うコミュニティバスの必要性は高まっていると思うので、規模の拡大とまでは言いませんが、制度の維持をお願いします。

精華町は確かに車がないと不便。高齢の方がタクシーでCOOPから帰るのを見ました。

くりんバスがなくなってしまうことはお年寄りたちには大変なことを思います。

今後ますます高齢化社会となり、免許返納がうるさく言われるが、その代わりに足がない。本人確認証明書も必要だが、何と言っても足の確保が一番大切である。病院、買い物など。行きたいときに行けること。安価なこと。高齢者が家に閉じこもらず豊かに生活するにはこれらの条件が必要不可欠であろう。これらは本来行政が整備すべきことと考える。では利用料金はだれが支払うのか。本人なら年金額をよけない限り無理であろう。ではどうするのか。行政が知恵を絞るべきである。

82歳で免許返納を考えることが来ていると思うか、買い物病院への便は 町内の病院までのタクシー用意を考えてほしいです。移動するのが大変で返納ができない、小回りができる乗り合いタクシー：例え：病院行きに限りワンメーターは町補助、後は自費とか

山田荘地域は、高齢者が運転免許証を自主返納された場合、くりんバスの運行がなくなると、交通手段がないため、買い物難民になってしまいます。地域の高齢化が進んでいますので、利用者は増えると思います。

免許を返納できる条件を整えるためにもくりんバスなどの公共交通機関は必要なので、続けてほしい。足がなくなれば特に高齢者の方は大変だと思う。弱い人々を助けることこそ自治体の役割だから、お金がかかっても継続することが必要です。また、くりんバスだけではなく、高齢者や障害を持った人も利用しやすい、乗り合いタクシーのような物も合わせて、活用することでくりんバスのより重点的な運行もできるのではないのでしょうか。儲からないからやらないで地方自治体の役割の憲法25条にも反することだと思います。

年をとって車の運転ができなくなったら、役場に行く時にくりんバスが必要だと思います。もう少し本数が多いほうが利用しやすいのではと思います。赤字であっても、残すべきだと思います。特に桜ヶ丘方面から光台に行く路線バスもないので、皆さんとても不便に思っているのでは(国会図書館や、学研都市病院などへ行く時)。

私自身は、くりんバスはほとんど利用していませんが、高齢者や障害のある方は移動手段として、くりんバスは必要です。

以前奈良市に住んでいた時、奈良交通のバスが高齢者は、高齢者優遇バスを見せると無料で乗れるというのがありました。(今はどうなっているのかわかりませんが)精華町も無料ではなくてもいいので、高齢者だけでも安く乗れるバスを発行したらいいと思います。若い方には普通に払ってもらおうということになります。くりんバスの運行経費が増大して困るのなら、くりんバスの運行をやめて、公共バス利用の最善策を考えるべきだと思います。

いずれ利用すると思う。確かに、ありがたい町政の1つである。町の負担があるのはわかるが、それ以上の得るものが町民にある。ぜひ、継続してほしいと思う。精華町も高齢化が進み、今後住民にとって、大きな助けとなる。老人には、外出することが必要である、健康のためにも少しでも歩くことだと思う。要支援者には特に必要不可欠だ。

2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、より多くの高齢者が買い物、旅行等で自動車を常に運転している現状である。以前大阪市内に住んでいる時は、歩いて10分以内に地下鉄、私鉄、バス等の公共交通があり、自動車を運転しなくても、楽しい生活ができていました。平成6年に精華町に居住すると、自動車を運転しないと、買い物、旅行などができないので、我家では2台の自動車を使用しています。年々年を取り息子、娘からは運転免許を返納するように事あるごとに進言されています。運転免許を返納したいのですが、返納する事により、日常生活ができなくなる状況であります。高齢者の運転免許返納に対して、くりんバスを有効利用について、町民(高齢者)が一同に乗って、協業場？検討会？を開催してはどうでしょうか。最終的には、世界の交通タクシー問題を提案及び実施している「ウーバータクシー」を導入して高齢者の運転免許返納の促進をしていただきたい。全国の見本となる連節バスの導入続いて新杉浦町長時代に「ウーバータクシー」を導入して精華町の交通対策を進化させていただきたい。

高齢者が増え、それによる運転免許の返納者も増えていくと思います。そうすると、ますます公共交通が重要になってきます。すでに我家は車は廃車しましたので専門タクシーバスに頼ってます。経費の問題もあると思いますが、もう少し細やかなルートを考案していただけたらもっと利用したいと考えております。くりんバスの停車場が遠いのがネックです。

くりんバスでのお年寄りの方が南庄くらいの手をあげてバスが止まって利用されているのを見たことが。交通手段の少ない方にとっては大変貴重な手段でありこのままの継続を願います。それよりも、高齢の方の車の運転も気になりますね。高齢でなくても車の運転(私も含めて)の無謀も目立ちますが、先日もきついでいておられない信号無視やたぶんニュートラルがパーキングの時のアクセルふかしなど、急に発進したらとおもうと、びっくりしたことが度々あります。運転免許返納のすめと思い切った高齢の方のバス利用無料などを検討していただけたらと切に願います。

運転免許を返納した先の生活が見通せません。他の地域のような高齢者に対する補助もなく、不安を感じています。

北行き(東畑口行き)の光台コミュニティホール前のバス停は、セブンイレブンの駐車所の前にあって、すぐ南側の道から右折で出る時に、見通しが悪く、バスが停車している時のことです。危ないです。(以前は、コミュニティホールの駐車場の中まで入って停車していたので、よかったです。)たぶん、事情があって、バス停を移されたのだと思いますが、例えば、少し北の立橋のあたりが、もう少し北など、もう少し見通しの良い、安全な場所に停留所を移してもらえるとありがたいです。高齢化が進むと、公共の交通手段はますます必要となると思います。例えば、免許返納者にタクシー補助をすとか、奈良交通バスの割引券を出すとか、はどうでしょうか。大した考えも不可びませんが、どうか、よい方法を考え出してください。頑張ってください。

年金生活者にとってくりんバスはとても助かります。奈良交通のバスはこの近辺りは220円になり往復すると500円近くなり、バカになりません。私はよく利用するバスの乗客の方々を見ると、高齢の女性がたぶん運転免許証を持ってない方が多いと思います。この方たちにとってはくりんバスは絶対に必要とすべき輸送システムです。病院通いは得に大変だと思われま。私が免許を持ってないのでとても助かっています。得に私の乾谷は買い物する店に近くはなく、私の地区が最も必要と思います。柘榴は学園前の方へのバス祝園へのバス便数も多く、この柘榴地区は廃止を考えていると思います。さらに山田地区では山田川に近い地区も廃止でよいと思います。他は東畑も必要性が多いと思います。柘榴は廃止の方向がいいと思います。

これからはお年寄りも増えて公共交通を利用したいと思う人が増えてくると思います。皆がバスを利用しやすく乗りやすい環境を考えてほしいと思います。働く人がいなくなる、高い料金では人は使えない、出かけることが難しくなる。いろんな問題が起きてくる。そうなることは分かり切ることなので、くりんバスをなくすとかという発想ではなくてどうやったら住民が出かけるのに利用しやすくして年をとっても元気に暮らせるのかまで考えた公共交通をやってほしいと思います。

高齢で車の免許がない人の交通手段として今後も必要であると思う。

高齢者運転による事故多発のニュース等もあり、今後、高齢者の運転免許返納が増えていく事は予想される。高齢者の移動手段としてコミュニティバスは必要不可欠なものとしてニーズが増えてくると思います。また、運転本数やバス停の見直し等でコミュニティバスの利便性が上がれば、それが結果として運転免許返納等にもつながる要因になるとも考えられます。コミュニティバスに乗れば町のいろんな情報が得られるような、楽しいバスになったら良いなあと期待しています。

これから老後を迎えるにあたって免許を返上した場合の公共交通があるのかとても不安です。桜ヶ丘の住民にとって役場やかしのき苑はとても遠いところとなっています。新祝園と高原を結ぶルートは公共のバスがあれば一番便利だと思いますが、それが無理ならくりんバスも存続を望みます。利用者負担で構わないので、値上げをするとともにルートを増やし、学研都市病院、かしのき苑けいはんなプラザ、役場などを網羅していただきたいし、毎時何分と覚えやすい時刻表にしてくださいと思う。せっかくなのでコミュニティバスをもっと利用したいと思ってる住民はたくさんいます。是非もっと便利にして継続していただきたい。

高齢者が免許返納しやすい社会作りを！

高齢者が広範囲に行動できるようにバス料金の割引をお願いします。

バスの本数が少なく、自分で移動できるものはいいが、高齢者の多い地区ではなかなか外出できないと思う。タクシーで出かける方もよく見かけるが、もっとバスが充実したら生活は変化するのではないかと。タクシーの運転はスピードが早く曲がり角も危険な曲がり方をするとき時見かける。

経済効率のみを優先させて本数、ルート等を定めるのではなく”公共”ということをまず考えるべきだと思う。今後高齢化がますます進み生活に余裕のないものも多くなると考えられるところ、そういうところに手厚くして行くことが本来の福祉ではないのでしょうか。真に弱者に優しい精華町、京都府、日本国であって欲しいものである。

○高齢者対策に関する意見 (2/2)

自分自身が高齢になり年金生活になるとくるりんバスはありたいとは思いますが、今は時間に余裕なく働いている世代の者にすれば自分の車を使い移動してしまうというのが正直な所です。
寒い時期は発車時間の数分前に乗車させて欲しいです。これから老人が増えて行くので親切に接して欲しいし、お子さんからお年寄りまで利用しやすいように工夫して欲しいと思います。
高齢者の優遇を期待します。
高齢時代に公共交通機関は大変重要と考えます。いろんな問題はありますがよろしくご検討ください。
くるりんバスは朝夕通勤で利用される時間は利用者が多いようですが、光台、精華台以外はあまり利用されていないように思います。他の地域はもっと小さい車で集客の近くまで来て頂けたらもっと利用が増えるのではないかと思います。私はもう少し年齢が上がれば免許を返上すると思うので、その時はバスを利用すると思います。
交通手段がない人にとってはありがたいが奈良交通と同じルートでなくても、時間がかかること、本数が少ないことが普及につながらない原因だと思う(くるりんバス)若い人は車を持ってたり、自転車での移動も多い。高齢者に対しては予約制のタクシー(少し安めの配慮はすべき)などの方が需要も多いかもしれない。若い人より高齢者の声を聞く必要があるかと思う。買い物の手段がない人向けに移動販売などがコストダウンになる可能性もある。
地元密着型で路線バスが通らないところをくまなく通るのは良いが、目的地(主に公共施設)などに1時間近くかかることがあるので使いにくいところがある。特に南部には公共施設がないので高齢者にとってはもっと回数を増やして欲しい。一つの改善策の提案ですが、朝、昼、夕と時間を集中して回数を増やすなどして欲しい。アンケートにも使う時間帯の頻度を問うこともあれば良いと思います。いずれにしろ、この先の高齢化社会にとってコミュニティーバスは必要です。
自分で移動手段を持たない老人には必要なものなのでなくならないようにして欲しい。
免許返納した方や、60歳以上の方に専用のパスポートを作ってくるりんバスとタクシーの利用を格安で受け入れるサービスを作ったらどうか？範囲は精華町内だけなどある程度限定して。くるりんバスは本数も少ないし、目的地とバス停が遠いが高齢者にはしんどいと思うので…今は高齢者の運転事故も多く、問題視されているので、対策は必要だと思います。
高齢化が進むのでマイカー利用が減る一方、人の移動手段としての公共交通の必要性は増える。高齢者が乗降しやすい構造のバスの運行が望まれる。廃止すると困る人が多いと思うし、お年寄りの方や歩くことが難しい人は使っている人も多いと思う。また、免許返納をしたら移動手段がなくなるという人に使ってもらえるように紹介したいと思う。
高齢化時代に入り、免許の返納が言われる今日ですから、便利なバスがあればありがたいのでは無いかと思います。とは言っても、空のバスが走ってる現状からこのまま運行を続けることが良いのか、疑問が残ります。運賃を倍額にするのと、運行ルートや時刻表を町民に周知し、くるりんバスの利用を意識させる方法を考える。お得感のある回数券の発行。
高齢者がますます増えるので、病院、診療所通りの利便性を最優先にお願いしたい。買い物等は他人に頼めるが病院等必ず本人が行かねばならず、いまのルートの見直しが必要と考えます。
奈良交通の路線バスや鉄道などが利用づらい地域の移動手段として、残すべきだと思います。移動手段がないために高齢になっても運転せざるをえなかったり、通学や塾に通うのに苦労し、地域を出て行ってしまう若者が増えたりということもあると思います。本当に必要とする地域に集中すべきです。他の地域に対しては、イベントの時など、臨時バスを出すくらいで良いのではないのでしょうか。
今は自分の車の運転ができていますが、いずれ出来なくなった時には、公共交通機関に頼ることになると思います。光台地区は京都府内でも問題とされている地区と聞きました。今は子どもたちもいますが、高齢化の波がすぐそこまで来ていると思います。その波に飲み込まれてしまわないよう地域が活性化できるように長いスパンを見据えた対策をお願いしたいと思います。近くの奈良市でもURの開発で発展し衰退している所がたくさんあるように思います。学研都市の名に恥ないような政策をお願いします。公共交通をもっと利用しやすいようにしていくべきだとおもいます。
今は自分で運転していますがもう少し車を重ねたら不安もあります。くるりんバスは引越して来た頃は(H10)近くにバス停があり利用したこともありましたが、いつしかそのバス停がなくなりました。高齢化が進む中、良い方法がないものかと思っています。
免許返納して買い物難民になってしまう人の足になれる交通手段を考えていただきたい。
中久保田の住民が恒例化しているため、運転免許証の返納が増えてくると思います。もう少しこの周りの交通手段を考えてほしい。
狛田は買物施設がないので高齢者にはくるりんバスがあり助かっている。くるりんバスの運行時間を詳しく知らないが、中学校の登下校時刻にあると助かるのではないかな。
下記のとおり、意見・要望として…提案いたします。
高齢者が「健康で、明るく楽しく外出できる公共交通機関であってほしい…」
町内外の移動等には公共交通移動手段として、自家用車、バス及びタクシー等を利用しなければならない中で、国の方針として「高齢者の自動車運転免許証の返納を推奨されく限られた選択枠の中で、高齢者の生活費の中で交通費にかかる割合は重く負担となっている。
要望：最も利用頻度の高い交通機関である、バス料金の割引制度をご検討してはどうでしょうか…(※地方公共団体補助金もありますが…)例えば、年間で利用できる高齢者老齢割引[ICカード]等検討しては…割引率については「現行の半額か、学生割引等…参考に
メリット ①利用者が外出する機会が増え、健康増進のに伴い医療費の削減が見込まれる。②バスを利用する機会が増え、乗車率と増収の向上に繋がる。デメリット：①自治体の負担が増える。
くるりんバスを廃止し、大阪が実施しているように条件付きの敬老バス制度にし経費削減に取り込むべきだと思います。
加齢とともにだんだんと長い距離を歩くのが大変になってきています。今年88歳、後3年は自家用自動車移動できますが、それ以降は、バス利用での移動は困難と思う。長くて100M以内でバスを利用できるように考えていただきたい、利用者も増えより有利に経営できるようになると思います。
そろそろ車の免許証も返却せねばならぬ歳になった、自分としては、まだ活動できるとおもっていたが、自家用車に乗られなくなると一挙に活動範囲が狭まる。公共交通利用では、駅まで徒歩15分、くるりんバス最寄駅といえば、役場徒歩15分、北樺八間駅についてはまだまだ遠い、シルバーカーや自転車置き場もない。足の弱っていくこれからの暮らしを考えると、家に引きこもるしかないのかな。大通りを走るくるりんバスより、もっと小回りのきく車で旧村集落にも光があたるようにしてほしい。タクシーの利用も良いが、経済的に苦しい。旧村を結ぶルート、集落内を走るルートは無理なのかな。
大阪京都は70歳以上は地下鉄、バスなど運賃補助のサービスがあるが精華町には何のメリットもないのでくるりんバスは続けてほしいです。
馬淵地域も高齢化が進んで、自転車も車も運転ができなくなってきました。くるりんバスができて大変助かりますが、本数が少ないのでなかなか利用できません。もう少し増やしていただけたら助かります。
今は車で移動できても10年後はどうなるかわかりません。高齢者が自分で車を運転しなくても町内とスムーズに移動できるよう町にご配慮を求めたいと思います。

○存続に関する意見（1/2）

<p>普段は利用していませんが、家族はよく利用しています。自宅から駅まで距離があり、車も乗らないので、くるりんバスは必要です。赤字なら少し値上げしても仕方ないと思います。行き（自宅→駅）はすぐにつきますが、帰りは時間がかかるようですが、それも仕方ないと思っています。何か良い改善方法があればもっと便利になって利用者も増えると思います。高齢者や不便な地域に住んでいる者としてはくるりんバスは続けてほしいです。私もたまにはくるりんバスを利用してみたいです。</p>
<p>マイカーで目的地へ行く場合は良いが、高齢になりマイカー運転ができなくなった時はくるりんバスは必要になってくる。一律100円は利用者によってはうれしいことであると思う。太陽光で走るバスなど低コストを考え維持し、サービスを続行できることを望みます。</p>
<p>現在のルートで必要とする3人がいると思うので（特に高齢者、障がい者）ぜひ継続していただきたいと思います。（他のルートは奈良交通の路線バスがあるので良いかと思いますが）自分も使う時はワンコインなので助かります。</p>
<p>市町村の提供する交通インフラである以上、赤字が出ることは前程となります。税の投入により、どうにか運営していくものと考えます。町の特徴を出すラッピングバスも結構ですが、広告面を増やすことも（全車両とまではいかずとも）考えてみてはいかがでしょうか。提出が遅れて申し訳ありません。追伸：不採算路線という考えではなく、近すぎる停留所を統合するなどのほうが先に考えることかと思います。</p>
<p>菱田地区は、スーパー1つなく買い物難民です。今は車で自由に買い物、病院と自由に行動できていますが10年後はどうでしょうか？車に乗れないかもとなった時、必ずくるりんバスが必要になってくると思います。妻は、車にのらないので、祝園の病院や、買い物に月4～5回は利用しているようです。運賃をあげてもいいので、ぜひくるりんバスを残してください。</p>
<p>くるりんバスの利用者は主に年配の方だと思うのですが、もしそうであれば、廃止という選択肢は避けるべきだと思う。ただし、その負担を若年層まで含めて分散させるのは、不公平に感じる。具体的な経費増大の額を提示されない限り、（提示されたとしてもどうかはわからないが）特に若い層には他人事のように考えてしまう。多くの町民は、奈良交通の路線で生活しているため、何かあった時にくるりんバスよりも路線バスを利用すると思う。路線バスの走らない所をカバーできるのがくるりんバスの長所だと思うので、例えばピエラタクシーなどの需要のある地域で採算を取れるように運行し、路線バスの走らない部分は継続運行するなどができればいいと思う。</p>
<p>くるりんバスは、光台方面から南陽高校に通学するのに必要な面があるので続けてほしい。車などが使えない町民の足として必要だと思うので、なんとか工夫して続けてほしい。特に高齢者の免許返納を促進して支援するためにも必要だと思う。</p>
<p>くるりんバスは知っていましたが、これまで利用する機会がありませんでした。子供が生まれ、かつ夫婦2人で2台所有していた自動車のうち、1台を売却してしまい、現在は夫婦で車1台しか利用できない状況になりましたが、公共交通機関を利用することが増えてきました。駅も近いので、ぜひくるりんバスを利用したいと思っていますが、子供が小さいので乗車時間が長くなるのが多くなって、まだ乗車したことがありませんでした。しかし、一回100円で乗車できるのは非常にありがたいシステムなので、これからもぜひ運用し続けていただきたいと思っています。</p>
<p>自分が車を運転できるようになってから利用しなくなったけど、車にのれなかったことにはよく利用して大変助かりました。安い値段で乗せてもらえるので、お年寄りの方や車のない方などにはなくてはならないと思うのですとあってほしいと思います。</p>
<p>光台8丁目から祝園駅へは、奈良交通バスは、320円もかかる、それが1/3以下の100円で乗れるメリットは大きい。とにかく民間バス料金は、鉄道に比べると高い、だから公共バスに頑張ってもらってほしい、ぜひこれからも100円で運行してほしい！</p>
<p>自ら運転しない、できない年少、年配の方には必要な交通手段のため、継続してほしい。</p>
<p>以前、子供がまだ小さい時、幼稚園入る前にまでは3人連れて、よくくるりんバスを利用させてもらいました。その時はすごくありがたく助かりましたが、利用時間と本数が少なく、少し不便を感じたこともありました。運行経費が増えてきているということですが、何とかして今まで通り、今まで以上にバスを利用できるように続けてほしいと思います。よろしくお願いします。</p>
<p>高齢化や、高齢者の免許返納の時間を備え、公共交通はますます重要性が求められている。地域の活性化を図るためには、経費がかさんでも維持発展させていくことが必要である。</p>
<p>今は、自分で車を運転してますからすぐには、バスを利用するつもりはありません。でも、将来的に夫婦2人共使えなくなれば、どうしてもバスのお世話にならなくてはなりません。その時のためにも絶対にバスは必要です。利用している人達は、お年寄りが多いと思います。バスが走らなくなれば困る人外出することのできない人が多くなると思います。経費が分かっても頑張って走らせてください。</p>
<p>バスの運行はぜひ継続していただきたいと思います。</p>
<p>光台に住んでいるので、車が運転できなくなると、公共交通機関や精華くるりんバスがなければとても不便な環境となり日常生活の買い物にも困るので続行してくるりんバスを運行していただきたいと存じます。</p>
<p>小さな子供がいると時間が限られているので、100円で乗ることができて便利な自分の車を使っているのが現状です。しかし、自分が歳をとった時は、100円のくるりんバスがあって欲しいと思います。</p>
<p>くるりんバスはずっと続いて欲しいです</p>
<p>最近はお宅も自家用車をお持ちであることが多くなっていること。精華町も住宅地が増加して日頃使用していたスーパーや商店が閉店（大型店ができたので）したりと、自分の運転のできない私のような者が増えて来たお年寄りにとっては公共交通機関は大変必要なものです。少々運賃は値上げしても、バスをなくしたりしないようお願いします。</p>
<p>くるりんバスは今後必ず利用すると思うので、無くさないで欲しいです。旭区にもバス停を作って欲しい！！</p>
<p>私はまだ70歳で車運転できますが、いずれできなくなったら、狛田は買い物する所が何一つなくくるりんバスに集って出かけることになるので走っていれば助かります。</p>
<p>私は87歳の高齢者。体力がなく何時も病気勝ちでテレビの前で座ってテレビ観覧が殆どで運動不足。その解消にくるりんバスを利用してウォーキング。運賃が安く有難い仏の様な存在で感謝している。これからも運行をよろしくお願いします。</p>
<p>今後住民の高齢化が進み、免許返納者が増える傾向にある中、公共交通の灯は消さないでいただきたいと思っています。</p>
<p>車等自分での移動手段がない方ではなくてはならないものだと思います。高齢者の方が多いイメージなので、運賃はあげて欲しくないと思います。今はあまり使っていないのですが、ぜひ続けて行って欲しいです。</p>
<p>（他県に比べて）運転者さんはとても親切です。なのでなくなってほしくないです。</p>
<p>過剰化が進む地域では有効な交通手段であり、継続運行をお願いします。財政負担も多いと思います。</p>
<p>大変役に立っていますので、ぜひ継続してください。</p>
<p>くるりんバスが継続できると良い。近い将来親が免許を返上する時が訪れるので、是非存続できるよう町民が協力することが必要だと思います。</p>
<p>私は車を利用して銀行、役場等に行きますが、高齢になり免許を返した時に移動手段としてくるりんバスを利用したいと思っています。先日、けいはんなプラザのコンサートに行き、とても便利で喜んでました。遠方から嫁いで来たので精華町に不案内でしたが、くるりんのお陰で一人で行って感謝しています。私も精華町の自慢の一つと思ってます。くるりんバス存続のためには利用料金の値上げもやむを得ないと思います。</p>

○存続に関する意見 (2/2)

公共交通は生活に不可欠なインフラであるので、採算はある程度考えるにしても、確保すべきだと考える。くるりんバスは町内を広く周回するので、目的までの時間はかかるけれども、多くの部分で奈良交通バスは走っていないので、車を運転しない人達にとっては重要な足であると思う。多額は経費がかかっていると思うが、存続させて欲しい。
他の自治体で以前公共交通の担当をしておりました。近年の人件費、燃料費の上昇に伴い、経費は増大していますが、経費を抑えるために、減便を行うと利便性が低下し、利用者数の減少につながる。ジレンマがあります。また、バス以外の代替手段としてはデマンドタクシーが想定されますが料金の高さと予約が必要等のハードルもあり、一長一短です。以上から現在のバス路線を維持すべく「地域全員」で負担して支えていく方向が良いと考えます。私は他市に通勤しているためくるりんバスを利用していませんが、公共交通は地域住民と福祉や教育施設等行政をつなぐ基礎を支える重要な要素であります。精華町が将来に渡って誰もが出かけて行ける町であるよう祈念いたします。
交通の便の良いところに住んでいるので、車を返納した者にとっても公共交通が使いやすいので今の所外出は出ています。狛田方面の友人のところへ行くのは「くるりんバス」以外にありません。公共交通の駅に遠い所はやはり小さい町を走ってくれる「くるりんバス」以外にありません。公共交通の駅に遠い所はやはり小さい町を走ってくれる「くるりんバス」はありがたいです。
今は車に乗りますが近いうちに返納すればくるりんバス利用します。前に手を怪我した時に1ヶ月ほどくるりんバス利用して買物など助かりました。菱田は買物する場所がありません。これからもくるりんバスなど公共交通が続く様をお願いします。
役場や図書館に行くには、路線バスと電車を乗り継いで行くしかなかったのが、くるりんバスができて助かっています。これから高齢者が増えて車の運転ができなくなった時くるりんバスは必要だともいます。料金がもう少し高くなっていいので、せめて一時間に一本あれば役場だけでなく、むくのきセンターにも、通えるのにも思います。
交通弱者のために続けてください。
若い世代は車を運転するので利用は少ないかもしれませんが、旧村の方は高齢化も進み、交通手段の1つとしてくるりんバスは不可欠です。今後も継続して運行していただくことを強く希望いたします。
バスがあれば便利と思う反面、乗車時間の長さや本数、時間などを考えると自身で車やバイクを利用するのが速いので、あまり利用できません。柘榴自体利用者が少ないので、バスの本数が少ないのは分かります。私の祖母はよく利用しており、バスに乗って買い物や病院に出かけます。バス内で友達もできたようで、その点ではバスがあると交流が多いのかと思います。運賃も100円と安いので、利用している方にとってはとてもありがたいと思います。しかし、利用者数やガソリン代などを考えれば利用者負担を増やしてもいいかもしれないと思います。その分、本数や時間を増やしていただければ利用者も納得され、利用したいと思われる方も増えるのではと思います。子供が大きくなった時に、利用できるよう残していただきたい気持ちはあります。いつもありがとうございます。
奈良市に勤務しており、居住地も奈良市境界のため、生活圏が奈良市。役場や図書館には年1回程度しか行かず、退職したらむくのきセンターやかしのき苑の講座にも参加できるかとは思いますが、現状では無理(夜間講座とかがない)。光台の施設へは月1ぐらい行きますが、家族運転の車のほうが手取り早く、くるりんバスの恩恵にあずかれません。でも利用者があるなら、高齢化も進むので、存続を希望します。
今はマイカーを利用しているが、10年後車を運転できるか、できなくなっている時には、買い物、病院通いにくるりんバスを利用したい、なんとか町でくるりんバスを維持していただきたい。

○廃止に関する意見

公共交通に関し努力していただいていることに感謝いたします。利用拡大について本数を増やして解決する問題ではないように思います。確かに必要とされている方もおられるのでしょうか、今の現状では空気を運んでいるようにしか思えません。基本的原点に立ち考えなおされたらどうでしょうか。本当に必要でしょうか？
厳しいことを書きます。こんなに利用しにくい無駄な事業は廃止すべきだと思っています。本数が少なく利用するにはバスの時間に合わせなければならないので、高齢者福祉にしか特化していないと思います。自分もいずれかはなる高齢者ですが、ここにお金をつぎこむのはやめて、児童福祉やインフラ整備に回し、これらを見据えたお金の使い方を考えてください。高齢者への福祉は必要ですが充実はいりません。次世代へのバトンをつなぐ終活を進める事業を充実させる方がよかったです。目先のことだけでなく、未来の見据えた税金の使い方をしてください。高齢者を支えるのは若い人や子供たちです。今の老後暮らしは潤っています。これ以上年寄りばかり耳を傾けるのはもうやめてください！
くるりんバスの赤字額を町民に公開すべきです。過去5年間の年度別収支。くるりんバスの利用人数。くるりんバスの路線で、利用者数の少ないところは早急に廃止すべきです。
運行本数の増加と時間帯の拡大で利用者を増やすべきだが、利用者の少ないルートは廃止すべき；利用者の増加が見込めるルートの模索をし、それでも採算が合わないようであれば運賃の増加もやむなし。なんにせよ利用者が増加しないなら廃止でいいと思います。
くるりんバスの利用をされている方は一部の方に過ぎないと思います。ほとんどの方にとってはルート、時間とも実生活に沿ってないと思います。運行に際して町が負担をしているのであればその補助は奈良交通の通常運行の運賃に反映してもらいたいです。路線バスの運賃は他の地域に比べてかなり高いです。くるりんバスは廃止で構わないと思います。
くるりんバスの財政負担が大きければ廃止を検討すべき。奈良交通バスの路線重視が多いようだが、必要性がよくわからない。料金的に安く運行することが目的であれば、安くする必要がある高齢者、低所得者に対して奈良交通バスの運賃補助を検討してはどうか。
くるりんバスは本数は少ないので、ご年配の方しか乗っているのを見たことがないです。あまりにもそこに税金が使われるなら、奈良交通と協力してやめてもいいと思います。ただ、移動に不便な地域もあるので民間の企業とかタクシー補助チケットとかコラボしてその地域の住民を手助けするなどできたいいなと思います。
利用者が限られており、公平性の観点からもくるりんバスは廃止すべき。納税者として不満があります。ニーズの少ない中、無理に活用を促進する必要はないと思います。
くるりんバスをどのような人が使っているのかわかりませんが、バス(奈良交通)があるので特に必要だとは思いません。存続するには何か特長(土日の観光用、免許を返納した老人の足として)を持たせたほうが良いと思います。赤字が増えるようなら、廃止も考えた方が良いでしょう。
いつもくるりんバスの乗車人数の少ないことをもったいないと思っています。公共交通を利用する時に割引等を設け自治体運営のバスを廃止した方が得策と考えます。
くるりんバスをやめて、浮いたお金で町民がバスを使う時の補助金を出せばいい。町民が公平に使えないサービスはサービスではない。
公共交通のない路線地域では必要性を感じるが、公共交通路線がある地域ではあえて精華くるりんバスを運行する意味はないのではと思います。

○運賃に関する意見

路線バスの運賃が高すぎる。これから増えていく高齢者のためにも、バスの運賃、ルートを考えてください。15分歩いて買い物に行くよりも、15分バスに乗って買い物に行くことが多くなってきました。
桜が丘3丁目に住んでいます。自動車をずっと利用して72歳で運転をやめました。その後くるりんバスを利用しています。何と言っても本数少なく、また時間によると(夕方)は立つ人が多く(夕方は学生も多い)安全ではありません。料金は少し考えて、本数多くしたほうがいい。特に奈良に近い京都で結局電車、祝園からバスを利用することになり運賃は往復800円になりまた駅までバスを使うと1200円にもなり、結局役場の用事の時のみ行くこととなります。奈良に行くことも多く地元とも接することも多くなります。運転をやめて失敗したと思います。奈良の老齢の方は特別にバスの安くなる券をもらっています。(年齢によって)奈良から移転して、少し後悔しています。使用するの、割引運賃(年齢、免許辞退した人)にする方がいいのでは？
100円バスできれば1時間に1本ずつあればもっと利用する人たちがいると思う。公共交通のバス代が大変高い。もう少し安くしてもらえればもっと使う回数が多いと思う。他の地域、奈良方面の老人はバス代半額あるいは無料でバスを利用して遊びに来られている。精華町の人たちは全額(年寄り)支払っているのを見聞きすると、なんとも言えず、奈良へ引っ越そうよという声も出ているほどである、100円バスよりもそちらの方を考えてほしいと思う。100円バスは継続してほしい。回数も多くしてほしいと老人たちは思っている。
くるりんバスが運行を始めてからずっとお世話になっています。私は車の免許を持っていないので、外出時は自転車、遠い場所はバスを利用しています。くるりんバスは本数は少ないですが、役場や図書館、むくのきセンターなどの公共施設に行く時には本当に助かっています。いつ来て高齢の方がたくさん乗っておられて愛用されている印象です。このまま運行を続けてもらいたいと願っています。運行経費が増大しているということで、運賃の値上げもやむなしなのかなと思いますが、100円のワンコインで乗車できるというのが良い点だと思うので(お年寄りが払いやすい、財布から出しやすい)その兼ね合いが難しいと思います。私個人としては、多少運賃が上がっても利用します。
150円にしてもよいので、もう少し本数を増やし、停車バス停を増やしてはいいかでしょうか？あと、木津川市や奈良市、生駒市との共同運行により、高ノ原や登美ヶ丘にも行けるようにするとか。
一律100円で乗車できることは大変ありがたいと思う。日常では自家用車を使用しているが車が使えない日やイベント時には利用してみたい。高齢者や車に乗れない人のためにもこれからも続けていただきたいが、町の負担が大きくなるのであればもう少し値上げしても仕方ないのかもしれない。
路線バスのないところへ税金をつぎ込んで運行しているのだから、利用者は路線バスと同料金を支払うべきと思う。同じ人が利用し、利用しない人は利用する時がない。
精華台に住んでいます。今は自分で車を運転し、出かけることもできますが、高齢者ドライバーなどの問題もあるように、いずれは免許を返納し、公共交通機関を利用する機会も増えてくると思います。100円という運賃が少し安すぎるような気もしますが、町民の足として存続していくために、私達にも利用しやすい、路線やダイヤなど、少しでも見直しがあればよいかと思います。娘は、習い事でよく利用させていただいています。高の原方面に行っていますが、バスと電車を乗り継いで行くよりも安いです。乗車時間は長いですが、100円という価格ですし、そこまで、過剰なサービスは求めませんともありがたいです。
乗りたい時に乗りたいバスがあれば、くるりんバスを利用したいと思いますが、時間が全く合わない。免許証を返納したら必要になるかな？バス停が近くにある人はまだいいけど、遠くまで歩く人は大変ですね。100円は安いけど、空車で運行をよく見かけます。価格じゃなくてやっぱり時間？かも。うまく時間帯が合えば乗ってみたいと思うけど。200円でもいいかな？200円じゃ無理か。一律100円だったんですね、知らなかった。
以前大阪に住んでいましたが、ここでのバス代(奈良交通)が高すぎる。この金額ではかんたんに利用しにくい。100円のくるりんバスは利用したいと思うが、時間帯が合わないと、時間に余裕のある人しか使用できないと思います。もし、利用客を増やすことを考えるのであれば免許返納(高齢者ドライバー)された場合に、一年だけとか期限を決めて、運賃を全額ではなく50円とかで利用できるようにすれば利用客もふえていくのではと思います。
京田辺市も以前、経費が増大してきたため、対策を取られた記憶がある。その後、どういう状況か、一度参考事例として聞いてみる方がよい。登録している高齢者に(老人福祉センター利用者のみ)、後日片道返金ということをしていると思う。交通弱者に寄り添うのは、必要だと思うが、ルートを再考するとか、小型バスのような車種も考えてみるべき。100円という運賃と乗客数を考えると値上げはやむを得ない気がする。
回数はこのままでなるべく負担額が上がらないようにお願いします。
運賃の安さが魅力。路線バスより安く、時間が合えば値上げしても利用すると思います。今は駅発の最終を利用。帰りが遅くなった時だけ利用しています。16時台との間があればいつも思っています。
京都市内では無料バスがあるというのに、くるりんバスの運賃増加は考えられない。あつてはいけない。くるりんバスは精華町のよき交通手段としてこれかも低運賃(100円のまま)で走り続けて欲しいです。とても良いコミュニティバスだと思います。学研都市病院にもバス停が欲しい。
なぜくるりんバスを走らせることになったのか。私からは無用の長物で税金の無駄遣いと思えません。かしのき苑とむくのきセンターに行く路線バスがない為の対策としか思えませんが、それでしたら役場からかしのき苑→むくのきセンターに役場のマイクロバスでピストン運転したらいいのでは。。これから高齢時代になって高齢ドライバーがいろいろ問題になっている今、80歳以上は路線バスを100円均一にするか、無料にさせていただけたらと希望します。是非検討していただきますように。
私の住んでいる所は徒歩圏内でスーパーを利用できるところがなく、スーパーを利用する際には車を日常的に使用している。だが、高齢者や車がない人にとってはコミュニティバスは生活する上で、欠かせない交通手段である為、その部分は仕方ないと思う。ただし一律に100円とするのではなく距離に応じて値段をあげて行くのがいいと思う。利用者にとっては一律100円である事は嬉しいが、ただしそのことで、町の財政を圧迫しないように、利用者負担を求めて行くことありだと考える。
精華町のイベントの際などにピストン運転するなど貸切を用意して見たら、どうかと思う(普通の運区に加えて)これから確実な人数、道路の混みも解決できるので、一石二鳥ではないかと思う。「一律100円」のメリットはかなり大きいと思うので、運賃はこのままでいて欲しい。
路線バスと同じようにくるりんバスも利用距離に応じた料金にするのがいいと思います。
目的地になるべく早く到着したいのが関係のないルート停留所を経由するため時間を浪費する。時間を持って余す人達にはそれでもいいかもしれないが、大多数は時間の無駄のない手段を選ぶだろう。料金はいっそのこと無料にしてもいいと思う。福祉の一環として太っ腹な所を見せるべき。継続には利便性の良いルート(ショートカットとか)を考案しなと利用価値が上がらない。そのほかのことも含めて抜本的見直しがあると思う。

○運行費用等に関する意見

私は精華台一丁目に住んでいますが近くを通っていないので、そもそも使えません。なので料金が安く、ずっと不公平と思ってました。不公平な状態でしかも経費が負担になっているのなら費用は奈良交通バスと同じくらいの料金を検討されるのでしょうか。バスが通っていない地域の方のためなら、料金を安くする必要はないと思います。
高齢者や弱者に対しての対策と思うが、乗車の数も少なく感じる。本当に役立っているのか？町の財政を考える時を感じる。費用対効果を示した上での意見を募っていただきたい。本当に困った方への補助金とか、乗り合い自動車のシステムとか、いかがでしょうか。
問9で、なぜくるりんバスの運行経費が増大しているのかは知りませんが、ルートや運行時間を検証して無駄のない運行を目指してほしいと思います。
精華くるりんバスは乗車人数が少ないのに走らせるから赤字はもっと増えます。公共交通を使うようにしてくるりんバスを無くしたら良いと思います。駅まで歩くのは遠いかもしれませんが、リュックを背負って歩くと足腰も強くなるし健康にも良い。バスを走らせることによるCO2も増えるし、市民の大事な税金がたくさんバスの維持費・バスの車検やガソリン代・オイル交換代など詳しく町民に知らせて欲しいです。ホームページを見れない人もいます。役場で好きな時間に窓口とおさずに見れると良いですね。アンケートとっただけでしないでください。
収益を求めているとすれば、驚きます。精華町という土地柄を考えるに必要不可欠かと思えます。私は間も無く自分の車で移動する生活になるのですが、高齢者の方々の生活には安く移動できる手段は必須でしょう。精華町はタクシーも少ないです。ドライバーも高齢で、引退したくとも多忙で引退できないとお話を伺ったことがあります。以前母が入院し雨の中退院する際にタクシーもバスもなく途方に暮れたそうです。お年寄りの方々の意見次第ですが、私は必要だと思うんです。ちなみに私の祖父母や曾祖父母は精華在住ではありません。ですがお年寄りの方々の移動が楽な町であって欲しいと望みますしそのためにも町民に負担があっても納得できます。
運行経費が増大しているというが、具体的にはどの様な経費が増大しているのか？利用者が増え運賃収入が増えることによって解決するのか、それとも利用者が増えれば経費も増大(赤字増大)となる収支構造なのか(それであれば運賃を引き上げるしかないが)住民の足、特に高齢者の足をどう確保するか、免許返上の流れの中で町内交通システムの総合的検討が必要。くるりんバスだけの問題ではない。このアンケート全体の基調としてくるりんバスの町負担が増大する中でこの運行を廃止したいとの意図が見える。すでに利用している人にとっては大切な足である。廃止するならばそれに見合う足をどう確保するか幅広い見地での調査が必要と思う。卒直に言ってどう回答したら良いのかわからない調査内容と思う(何を調査したいかわからない)。
高齢化の社会の中で、バスの本数を減らすことは利用される人にとっては、痛手だと思います。しかし経費が増大すれば、抑えないと子ども達の将来に関わってくるので、いかに負債を残さず現状を維持することが大切になってくると思えました。前のページでも記入したが大型バスを止めマイクロバス等の小型化すれば、維持費や経費を抑えられると思います。そのためには一台当たりの一日の最大乗客数乗客時間を算出する必要があると思います。また、一回の運行の最大乗客数から席数も考える必要もあります。なかなか難しいかと思いますが、よりよい精華町に、次の世代に少しでも多くのお金を残し、繋げられるまちづくりをしていただければと思います。大変かと思いますが、頑張ってください。子供の未来のためによりしくお願いします。
自分の都合の良い時間に家を出ることができ駅までのかかる時間を短くしたいというマイカーの利用となる。これを解消するには本数が増えることと運賃が安いことが必要だが、バスが常時満員でないことを思うと本数を増やすことは無理だと思う。もし小型化でコスト削減ができるならそれも良いと思う。車にコストがかかるのか？人件費でコストがかかるのか？くるりんタクシーのようなものがあればどうなのか？運行経費の増大の理由やデータがないので意見は述べにくい。理由やデータを町民に掲載することによって町民のニーズや広い意見を求めてみてはどうか？免許を返納したりする高齢者にとって通院や買い物など自家用車に乗れないと困る。地域のことを考えると実際利用されている方の要望を具体的に調査されてはどうかと思う。

○運賃割引に関する意見

独自のバスルートの運行ではな公共のバスの運行を利用できる割引バスや回数券の配布にかえてはどうかと思う。(車を持たない年金生活世代だとか、赤ちゃんつれママだとかメインにするとか)
バス以外のタクシーなどを利用するよう割引制度の活用を図ってはどうか。

○ICカード、キャッシュレスに関する意見

ICカードが使えるようになったらうれしいです。キャッシュレス化で小銭がちょうどなかつたりすると、100円のためにお金を崩さなければならず、面倒です。回数券を買うほど利用しない。で、ICOCA,PITAPA使えるといいな。
QRコードでラインペイやpay payが利用でき、利用高に応じて特典があるようにしてもいいかもしれません。
くるりんバスは時間が合えば利用させていただいています。安い料金で駅までいける事はとてもありがたいです。本数を増やしていただく事、ICカードが利用できるようにしていただくことがもしできるのであれば大変嬉しいです。くるりんバスの運転手の方はいつも優しいお言葉(右折する時や停止する時の声かけ)をかけていただき、とても気持ちよく利用させていただいております。ありがとうございます。
交通系のICカードが使用できるようにしてほしい。最寄りのバス停で一時間毎の発着を望む。

○広域連携に関する意見

この地域は、木津川市、生駒市、奈良市など、市境や県境が入り組んでいるので、県や市や町を越えての協業体制が可能であれば、より相互の住民が動きやすい地域となり、全体に活性化が見込まれるのではないかと思います。自治体を越えての取り組みは難しいとは思いますが、今後、そのような方向性も視野に入れていただきたいと思う。
精華町だけでなく、近隣の市町との連携をお願いします。
くるりんバスの現在の必要性がよくわからない。例えば、医療介護施設、公共施設(図書館等)と住所地点を結ぶのに特科した路線の設定とし利用料金を一律にする等、同バスの目的を明確にする。隣接市町や他県境に接する自治体等と協力運営を図り利用の利便性や区立の経営を考える。

○OPRに関する意見

精華町に住み始めて約5年ですが、運行ルートがあまり認知されていないように思います。くるりんバスができた背景、意義も気にしたことがないので、周知されるようにしていただきたいです。高齢者の交通事故が社会課題となっている中、低価格で移動手段を提供することは意義のあることだと思っています。
1. 利用のためのPR不足: 役場一活用方法の掲示一先案内板の掲示-A4の判PRの一枚刑事のみ一同封のみ一他の場所で前項のみ 2. 利用ルートの再検討 3. 本数の増加: 利用者側に立って考えるべきでは。
町民に精華くるりんバスの運行を知らない人がたくさんいると思うので町民にもっと宣伝したらいいと思う。
路線図を見てどう回っているのかわかりづらい。去年の5月から住んでいますが、くるりんバスの存在を知らなかった。もっとアピールしてもいいのでは？安くて便利ということを宣伝をもっとする、浸透していないと思う

○その他の意見 (1/3)

<p>祝園から、登美ヶ丘へ電車を通してほしい。祝園駅前ロータリーの運用を改善してほしい。乗用車と分けたか、遠いので十分効果出ていないと思う。駅から遠い側にもロータリーを作るのではなく、従来のロータリーの上に2階で、もうひとつロータリーを作れなかったのか。</p>
<p>奈良交通の運賃を安くしてほしい。最終電車の後に最終バスを運行してほしい。</p>
<p>検証するなら、具体的な目的を再設定すべき。現在の曖昧な目的で何を検証するのか。利用者増をお願いする前に、利用者を増やす努力をすべき。役場での行事ですらバスの時刻が考慮されていない。くるりんバスに関わらず、どれだけ知恵を出せるかにかかっている。行政のプロの見識を見せていただきたい。</p>
<p>学研都市線の運行本数が少ない、下泊も行き違い待ちできるようにけいはんな線の延伸も頑張してほしい、リニアも誘致頑張してほしい。バスは精華町外にも出れたらと思う。祝園＝京都、大阪、直行便とか、特に空港に行くときは荷物が多いからあるといい。</p>
<p>アンケートするなら経費の概要をつけるべき！</p>
<p>くるりんバスがあると助かると思いますが、利用料金を上げるのも難しいと思います。提供する目的に立ち返って、見直しをするようにお願いいたします。応援しております。</p>
<p>自分も数年後には運転ができない可能性があるのですが、その時は利用しようと考えています。</p>
<p>車を利用できない人、買い物その他で不便なところに居住している人には大変利用価値がある。</p>
<p>1. 精華町では多くの方が車を持っており、特に若い方は不要の方が多いと思う。2. 高齢の方、しょうがいをお持ちの方など、交通弱者の方が必要な方(不要な方もおられるので全員にはしない)には一部自己負担で(高齢率上がるを考えると自己負担金必要、5割とか)1000円回数券のようなものをつけていただく。3. すでに奈良交通のバスが走っているところは、回数券でそのバスに乗ってもらう。4. 奈良交通のバスが走っていないところは、回数券でタクシーに乗ってもらう。超えた分は自己負担。ほど誰も乗っていないのにバスが走っているような状況は非効率なので、まずは奈良交通バスと重なるところの廃止を！奈良交通のバス路線から外れているところにお住まいの交通弱者の方は負担率を下げるなどの配慮がいるかも知れません。</p>
<p>くるりんバスのアナウンスが多い(止まります、曲がりますなど)のですが、そこまでアナウンスする必要あるのかと思います。要望があっているならいいのですが、そこまでのサービスは私は求めてないし、運転手さんも面倒ではないのかと思います。負担になるのならやめてもいいんじゃないかと思います。</p>
<p>くるりんバスがありますので外出がしやすいです。今後はお世話になります。よろしくお願いします。</p>
<p>バスが100円で乗れるのは魅力的だが、時間がかかりすぎるので、忙しい若者たちには、利用が難しいです。くるりんバスほとんど空っぽで走っているので、一度見直し必要かと思えます。</p>
<p>そもそもこうした住民に必要な経費はもっと国に要請しもっと本数を増やすべきである。あるお年寄り1時間かけて10分くらいで行けるところを無理して乗って使っているそうです。このアンケートで、使う人がいないから、本数が少ないから意味がないとして廃止しないでください。もっと本数を増やせば人は乗るはずですよ。</p>
<p>免許返納しましたのでこれから利用していきたいと思えます。費用が安いのも助かります。もう少し本数が増えれば助かりますが費用は増えてしまいますね。公共交通そのものの必要性は、住民の高齢化と高齢者の自動車運転の危険性を勘案すればあると考える。一方、精華町単独でその問題を解決しようとするのは、財政的に余裕があるならいいが、今後を考えれば無理がある。その方法はバスでなくても、コストの安い輸送手段を考えるべき、この試みは日本の各地でも諸外国でも色々実験されている。町単独ではなく、県、その他の市町村とも連携して考えるのがいい。3人よれば何とやらだ。よく考えなさい。今のところ自転車と家族が運転する車に間に合ってます。</p>
<p>資源が限られる中で、何に投下すべきか、精査要と思えます。バス運行の費用も、さらに効率化できないか、民間の知恵、技術も活用し検討してほしい。</p>
<p>けいはんな線の延伸と新祝園へ、また山手幹線や京奈和沿いに松井山手新幹線駅など新発延伸あればいいと思います。</p>
<p>精華台に住んでいますが、近所の方はほとんど車か電動自転車を利用して駅まで行かれています。買い物にしても、今は宅配サービスやネット注文が充実しています。くるりんバスにそれほど需要がないのではないかというのが正直な感想です。</p>
<p>バス停が自宅に近いので、便利で良かったです。</p>
<p>くるりんバスを続けてください何かと利用している私たち年寄りにとってはありがたいことです。</p>
<p>今は健康で問題ないが今後公共交通が必要になる。くるりんバスでは財政上限界がある国に規制緩和を求めユーザーのようなシステムの導入を図るべき。日本は最も遅れている国の1つです。</p>
<p>私もあと数年で運転免許証の返納を考えております。公共施設(むくのきセンター、打越台)を現在利用しておりますが、返納後は、打越台の利用ができなくなります。打越台へのルートを考えていただきたいと思えます。</p>
<p>早急に登美ヶ丘(近鉄)から光台等を経由し祝園駅に、又逆の路線が出来る様モノレール等で国、県近鉄、JR等に働きかけてください。光台は会社(企業)も増加しており、通勤者もこれから更に増えるのではと思えます。</p>
<p>路線バスをするなら、奈良交通等の路線バス路線の経路から外れ、役場、かしのき苑、病院など主要施設のみを回ればいいのか？便数は今くらいで良い。</p>
<p>京阪奈新線の新祝園延伸を早期実現させてください！</p>
<p>学研奈良登美ヶ丘駅、新祝園駅に到着する電車の到着時間を奈良交通の59系統の発車時間をすり合わせるべき(学研奈良登美ヶ丘駅に到着時間の1分後に発車することがある)</p>
<p>奈良交通の運賃が高い。登美ヶ丘駅から祝園駅のバスを増やしてほしい。</p>
<p>今はバスの利用していても10年を待たずに使わざるを得なくなった時にまとめて買い物に行ってもバス停から遠いので重い荷物を持って帰れないと思うと不安ですが、くるりんバスなくなるのは将来的に困る。免許を返納したあとの間には：問2① 問3週3回 問4 1現金 問5 1, 3, 4 問6 3. 4. 5. 6. 7 となります。</p>
<p>屋間の学研奈良登美ヶ丘行きのバスの本数が少ないので、利用しにくい。</p>
<p>奈良交通は障害者割で110円になっています。くるりんバスが障害者のために運賃が半額などもう少し合理的配慮をお願いします。</p>
<p>気軽に外出することができ、ありがたく思っております。</p>
<p>公共交通としては、奈良交通があまりにも運賃が高すぎるので、最低限の駅、公共機関への連絡網としては必要であると思われる。町予算の配分の見直しにより、根本的には、旧集落に偏った、即ち、人口比に見合った政策を推進していただきたい(くるりんバスのみではなく)</p>
<p>役場に行く時は、とても便利です。何度か利用しています。</p>
<p>奈良交通のバスの本数を全体的に増やしてほしい。届いた封筒にも書いてあった「京阪奈新線の新祝園駅延伸」が全く進んでいない気がするので、広報紙で近況報告してほしい。</p>
<p>今は仕事も辞職し、アルバイト位ですが、妻はマイカーは乗らないので年末の運休は以前は困ったようです。山田川に両親のお墓があるからです。確かに桜ヶ丘方面に行く時とか車のない方はありがたいバスだと思います。</p>
<p>ふるさを納税で乗車券など返品にする。記念乗車証の配付など特別感を出す。バスの車内アナウンスを京町セイカの声にする。京町セイカを使って何かする(映像であったり、音声であったり、グッズであったり、乗客できそうなことを考える)。バスカード、回数券などに京町セイカをプリントする。</p>
<p>皆さんが住みやすい、出かけやすい、日常がよいので、できるだけ続けてほしいと思えます。高齢の方や車を運転されない方は、便利だと思います。くるりんバスがあれば気軽に出来る方もおられると思えます。今のところは利用していません。</p>
<p>バス停が住まいの近くですので、朝の時間・屋間の時間、乗車される方々の声を聞いたり、下車されて変えられる方の姿をお見かけすることが度々あります。でも乗車される方が一定されている様に思えます。公共交通の財源がいつも多大な赤字なら、商工会とか農協なり大きな商店なりで一週内に2度3度の買い物ツアー定期便を出したりなどの手段を考えるのも一案かと。いろんな自治体の取り組みも聞いてみるのも一案。木津川市の様に値上げも一案。いろんな方法をご検討ください。</p>

○その他の意見 (2/3)

精華西中学校の最寄りのバス停に停まって欲しい。
くるりんバスは利用したことがないため、利便性についてはあまりわからないのですが、くるりんバスがなくても奈良交通バスがあるので、充分便利ではないかと思えます。料金は奈良交通バスより安く使いやすいので、その点は良いと思えます。車を持っていない方や、お年寄りにはとても大切な交通手段かと思えますので、経費が厳しい際には少し運賃をあげるか、奈良交通のバスの本数を少し増やして移動しやすくなると良いと思えます。
地球温暖化が急速に進行している中で原因が化石燃料の商品増大による二酸化炭素濃度の増加が原因ではないかの意見もあり世界の足並が一致しないが、これほどまでに人間が体を動かすことと嫌い楽しむことばかり考えている結果、産業一辺倒の政治のあり方を見直し心に余裕を持った政治が出来るような教育・行政の改革を望む。
現役世代は精華台であれば奈良交通で十分と考える。精華台以外の地域で自家用車が必須な所において高齢者(免許証返上が望ましい年齢)世帯では日々の生活においてくるりんバス等は必要であるため町で負担すべきだと考える。
自転車を使う人がほとんどなのであまり需要がない。光台の方まで行くと駅から遠いので利用者は多い気がする。
今回アンケートが届いた事をキッカケに利用してみようかなと思いました。
今のき苑のプールができた時から今日迄くるりんバスを利用して本当に助かっております。バスがなければ行くこともできないのに。本当にありがとうございます。
車内の段差は荷物が多いと困る。バス停に風よけが欲しい。
京阪奈新線の新祝園駅延伸を早期に進めて欲しいです。運転が不向きな人が免許返納をすぐ決断できるようにするためにも、公共交通を充実させるべきだと思います。
日によって子供が利用するが、学校に行く時間ギリギリの時刻の設定で乗りにくい。朝もう少し早ければ乗る学生も増えるのでは。。
くるりんバスを利用している方々に調査をしてそれに基づく対策等が必要と思えます。
精華町から学研奈良登美ヶ丘を通り、学園前まで直通でいけるバスがあると便利です。くるりんバスは通学通勤の時間帯に使えるとすごく良いです。乗車時間は長すぎですが。。
子連れで利用したいですが乗車時間が長いのでついつい車を利用してしまいます。ぐずった時に周りに気をを使うので…
企業のためには連節バスなどがあるが、主に交通手段を自分では持っていない高齢者のためにもっと公共交通(バスなど)を増便して欲しい。
現在一度も利用した事はありませんが、今後利用するとしたら、できれば路線バスと同じ駅にしてもらえばよいが
公共バスを止めて、高齢者に寄り添う行政を依頼します。我々の大事な税です。大事によろしく。
とくにありません。よくわかりませんでした。子供には少し考えにくいです。
連節バスの平日の通勤・通学時間帯以外の運行ができればと思います。(混雑時以外の)精華くるりんバスに乗ることがあれば是非、利用します。
京阪バス、奈良交通の「けいはんな学研都市⇄京都市内」直通バスがありますが朝2便、夕方2便しかありません。また、平日のみの運行です。京都市内へ行く時に時間的にも乗換えもなく便利ですが、昼間や土日の運行がなく残念です。もう少し本数を増やしてもらえるとありがたいと思えます。くるりんバスの「高の原駅行きルート」があれば利用したい。
年金生活者には料金が安く助かっています。
夕方に時々連節バスを見かけます。乗降客がほとんどいないならば、連節である意味はないと思えます。それに一体どの時間に、どのルートで、どのような客を乗せているのか一般人にはわかりません。(私が知らないだけなのか)そちらの方の抑えて欲しい。くるりんバスは必要な人には必要。
自宅からくるりんバスのバス停までは遠いですが、バス→電車→バスを乗り継いでプラザまで行くのは時間的にも小学生には大変です。学校から急いで帰宅して走ってギリギリ乗れるので助かっています。共働きのため、子供が自力で習い事に行けるので助かります。
値段が安いので行き先や時間が合えば利用したいです。学研奈良登美ヶ丘駅に行ければ便利になります。
学研奈良登美ヶ丘駅へのルートを検討してほしい。
バスのサイズがとても可愛らしいので愛着が持てます。バスが通る時にも明るいカラーや町のマークなどもっと分かりやすさがあると印象が良く思えます。分かれづらさがあってルートに不安がありながらもバス停も可愛らしいのでどの形を参考にされたのか興味があります。
くるりんバスをなくすのなら路線バスを70歳以上無料にすべき。精華町は何もない。
光台地区についてはバスが頻繁に走っているのでも不便は感じていない。
一般のバス路線から外れる公共施設や病院等への交通手段を確保すれば良いと思う。学研都市にふさわしい新交通システム(自動運転、電気自動車などの移動手段)を積極的に推進すべきだと思う。
けいはんな地域から京都駅への直通バスの利便性を高めてほしいです。(本数を増やす・京都側側の停留所を増やすなど)
天気の良い季節には遊覧バスで楽しいですよ。
近鉄電車の回数が少ない。他社と比べると近鉄電車の運賃が高い。車内が汚い。空間が狭い。
京阪奈新線を新祝園まで延伸するとともに、この間に駅を一ヶ所設置し、その駅と新祝園を拠点とした「くるりんバス」の運行が望ましいと思えます。「くるりんバス」の路線を増やすことにより利用者も増えると思う。現在の「くるりんバス」は路線が少ないため広く住民の足を網羅しようと思ひ、乗車時間が長くなるので路線を増やすことを要望します。
減多に利用する機会はありませんがいつも運行ご苦労様です。とても安全な運行をされている印象があり好感は持てます。自分も自ら運転ができない時の手段として今後は利用させていただきたく可能性も大いにあると思うのでぜひバスそのものをなくさないでほしい。新ルート見直しなど定期的にしていただけることを希望します。
奈良交通バスは値段が高いわりに遅れるしダイヤが少なすぎる。
利用者の年齢、利用目的について統計を取る必要の有無を再検討してほしい。
くるりんバスは私達家族はたまにしか使いませんが私の母が家を訪ねる時などは祝園駅から利用します。その時、運転手さんがすごく親切だと話しています。交通の便が悪いので、バスは大変ありがたいと感じています。今は元気で車を運転できますが、できなくなった時、利用する回数は増えると思ひます。
子供の高校へ行く時、駐車場がないので助かっています。
歩いて行くのに多くて大変(70歳過ぎの祖母の為)
子供が南陽高校に天気の良い日は自転車を通っています。雨の日はバスが便利だと思っていましたが、バスを使用すると間に合わないようです。奈良交通は運賃が高いので、
くるりんバスは非常に役に立っています。
通勤、通学以外で日常的に利用されている方がどんな 使い方をされているか、今回のアンケート結果を公表してほしい。利便性が分かれば利用する機会が出るかもしれない。(〇〇は駐車場が狭いからなど)
運行経費の増大は理解できます。どれくらいなのでしょう？赤字でしょうね。利益は必要ないとしても、便利に利用されている方々が得ている利便性を考えてトントンにはしたいものですね。以上。
子供が南陽高校の通学に(雨天時)利用したことがあります。しかし、時間がギリギリで遅刻したこともあります。時間が合えば利用価値が上がるのに残念です。子供はもうすでに卒業してしまいました。
事故が絶対起こらないようにして、それを第一にしたい。その中で、時間を守ったりということも責任を持ってほしいと思ひます。くるりんバスももっと知名度を上げたいと思ひます。
奈良交通との棲み分けをする必要がある(本数を増やせば乗る選択肢には入るか運用コストが植える)イベントごとにむくのきセンターへの便を増やすなど、独自路線での強みを出す。

○その他の意見（3/3）

一般の車両と同じ道路を同じルールで走行するバスには、利便性が低下する（得に渋滞による時間の不正確さ、所要時間の増大）。よって、バス専用レーンや使用時間専用利用の便宜を図る必要がある。他の中核都市で活用されるLRTの導入も選択の余地がある。奈良交通を補完する、終電に合わせて、JRで近鉄の主要駅を回る運行路線の選定もありがたい、（タクシーの台数も少なくなるから）
新祝園駅で近鉄とバスの連携が悪いため、待機時間が長い。精華台通りを通るバスとトチノキ通りのバスが新祝園駅で同時刻に発車する。10分程度時間が違えば、どちらがに乘れて便利になる。
運行経費が掛かりすぎるから本数を減らすとしたら利用者も減ります。便利ではなくなるから。どんどん色んなよいところもなくなります。最終的に「誰も乗れないバスを少しだけ走らせませす」程度のもになるなら、やめてみたらどうでしょうか？利用者は高齢の方が多いかと思いますが、ご自分で何とかしてもらいましょう。すでに手厚く充実するように思います。免許返納を十分に促すのであればそして実績が出れば、公共交通に税金を使われてもわかる気がします。高齢の方に気を使わずです。
自身で車を運転しなくてもよいような交通機関の発展を望みます。
路線バス（奈良交通）が走っているのに、わざわざくるりんバスを運行させる必要性はないと思う。以前数回利用したが、くるりんバスの利用者が高齢の方が多いと思うので、路線バス無料（60歳以上、精華町在中の人など）にすればよいのではないか。
平日の通勤時間帯に町民以外の人が多く利用している。時に満員となっているところを見て町民サービスとはなっていない感じがする。中学生の子供が雨天の日に利用すると満員で利用できないことがある。そもそも「くるりんバス」はコストはかかるのは前提で住民サービスを測るのが目的ではないのですか。
現在は自分で運転していますが、いずれはお世話になると思います。
夜21時～23時のバスを後少し増やしていただきたい。大阪で残業し、疲れて帰ってきたときにバスがなく本当にしんどく時には腹立ちます。引越したい気持ちと戦ってます。
JR祝園より精華町役場への便があればと思います。
登美ヶ丘～新祝園ま電車の延長を早くしてほしいです。
奈良交通バスについて：光台から最高額運賃310円は高すぎるために利用者が減っている。くるりんバスについて：通勤、通学がしやすい時間帯ルートを増やすことで赤字解消につながると思う。
路線バスをよく調整して運用して下さい。廃車率が上がると思います。あるいは公共交通に他市町村並の補助を！
他地域へコミュニティバスはどのような状態でしょうか？いろいろ参考にさせてもらいたいのでいいのでしょうか？近隣では、木津川市も、バスがあるようですがもう少し利用しやすくなれば、（本数が多いなど）高齢になった時にはありがたいと思います。
これから先、近くの買い物また病院へなどで簡単に少人数で乗れる小さな車であればピンピン利用したいと思います。
ニーズがあれば費用負担は利用者にしても良い。コスト吸収力がなく町負担が大きければなんかとが出て運用しづらくなるように思う。高齢者が増加する中で公共交通の需要は多くなる。矛盾するかもしれないが、注目度を上げる意味で最先端の電気バスなどを導入することも一考かと思う。